

令和6年度三重県公営企業会計（病院事業庁）

決算審査意見書

令和7年9月

三重県監査委員



監 査 第 2 9 号  
令和 7 年 9 月 4 日

三重県知事 一 見 勝 之 様

三重県監査委員 村 上 亘  
三重県監査委員 長 田 隆 尚  
三重県監査委員 石 垣 智 矢  
三重県監査委員 伊 賀 恵

令和 6 年度企業会計決算の審査について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定に基づき令和 7 年 5 月 30 日付け総務第 07-33 号  
で審査に付されたこのことについて、別添のとおり意見書を提出します。



## 目 次

第1	審 査 の 概 要	1
1	審 査 の 対 象	1
2	審査の着眼点及び実施内容	1
第2	審 査 の 結 果 及 び 意 見	2
1	審 査 の 結 果	2
2	審 査 の 意 見	2
第3	経 営 の 概 要	8
1	事 業 の 概 況	8
2	患 者 数 の 状 況	8
3	決 算 の 状 況	9
第4	病 院 別 の 状 況	18
1	こころの医療センター	18
2	一 志 病 院	22
3	志 摩 病 院	26
第5	決 算 諸 表	32



# 令和6年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査意見書

## 第1 審査の概要

三重県監査委員監査基準（令和2年4月1日施行）に準拠し、次のとおり令和6年度三重県公営企業会計（病院事業庁）決算審査を実施した。

### 1 審査の対象

令和6年度 三重県病院事業会計

### 2 審査の着眼点及び実施内容

令和6年度の三重県病院事業会計の決算審査は、知事から審査に付された決算書の内容について、

- (1) 決算諸表が、地方公営企業法その他関係法令に則り、三重県病院事業庁会計規程及び会計事務手続等の諸規程に基づき適正に作成されているか
- (2) 決算の計数は正確であるか
- (3) 決算諸表は、経営成績及び財政状態を適正に表示しているか
- (4) 予算は、計画的かつ効率的に執行されているか
- (5) 事業経営は、常に経済性の発揮及び公共の福祉を増進するよう運営されているかなどを重点に、会計諸帳票、証拠書類との照合精査を行うとともに、必要な資料の提出を求め、関係当局の説明を聴取し、併せて定期監査、例月出納検査等の結果を参考に、慎重に審査を行った。

## 第2 審査の結果及び意見

### 1 審査の結果

「第1 審査の概要」のとおり審査した限りにおいて、決算その他関係書類が法令に適合し、かつ正確であると認められる。

また、事業の経営については、以下の意見のとおり留意又は改善を要するものを除き、概ね適正に行われているものと認められる。

### 2 審査の意見

#### (1) 令和6年度決算と中期経営計画の推進について

令和6年度病院事業会計については、地域包括ケア病床の活用や診療報酬の改定により医業収益が増加した一方、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」という。）の病床確保に係る交付金の皆減や給与費の増等により、経常損益は、前年度に比べ4億7,523万4,353円悪化した。また、前年度に計上した特別利益の皆減により、純損益は、前年度に比べ34億1,285万8,924円悪化し5億2,335万4,496円の純損失となり、赤字となった。

なお、累積欠損金は49億2,294万4,546円と前年度より増加した。

令和6年度を始期とした「三重県病院事業 中期経営計画（令和6年度～令和9年度）」における成果目標の達成割合は、前計画の最終年度であった令和5年度より改善しているものの、患者数が減少傾向にあることや医師不足も継続していることなどにより、患者数に係る目標を中心に約半数の項目が未達成であった。また、人件費の上昇や物価高騰の影響、医業収益の回復の遅れにより、今後、累積欠損金が再び拡大することが懸念されている。

人口減少が進む中、県民の求める医療を着実に推進するとともに地域に必要な医療提供体制の確保を図り、今後も医療サービスを継続的かつ安定的に提供していくため、魅力ある病院づくりを進めて医師の確保に取り組み、診療体制の充実を図りながら医業収益を確保するなど、中期経営計画に定めた目標を達成するための取組を推進し、健全な経営に努められたい。

なお、令和6年度の各病院の収支状況及び留意事項については、次のとおりである。

収益的収支の状況

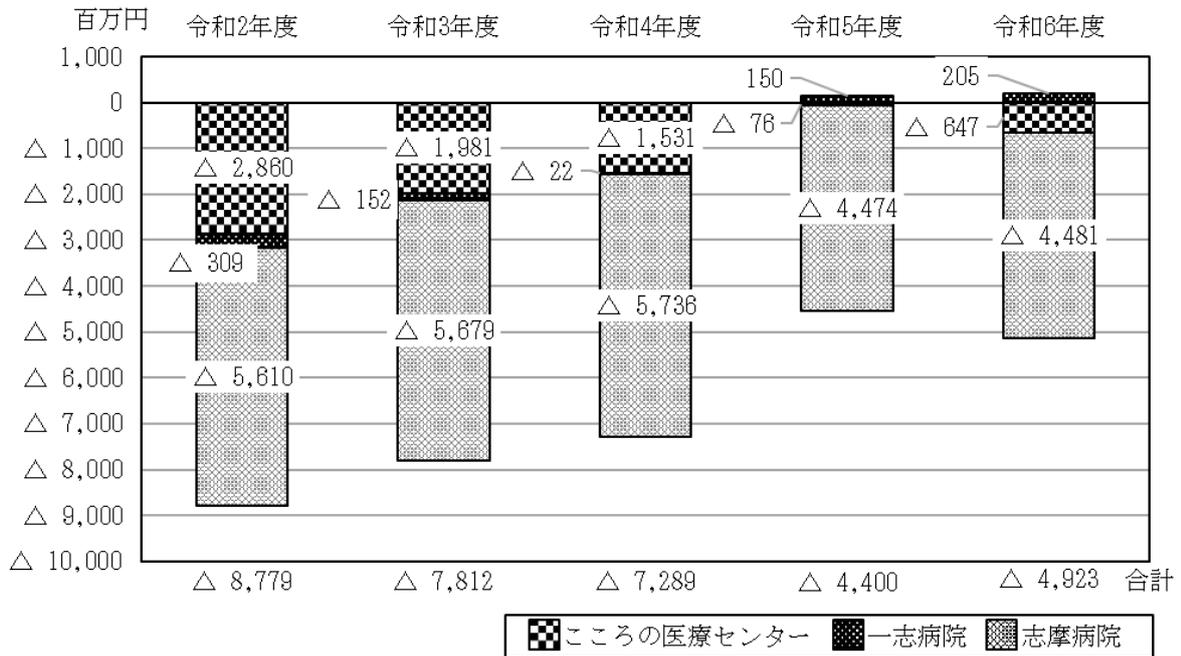
(単位：千円)

病院名等	区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年度比 (%)
こころの医療センター	医業収益 A	1,751,831	1,772,147	△ 20,316	98.9
	医業費用 B	3,324,444	3,081,991	242,453	107.9
	医業損益 C=A-B	△ 1,572,612	△ 1,309,844	△ 262,769	-
	医業外収益 D	1,112,923	1,341,871	△ 228,948	82.9
	医業外費用 E	111,551	126,394	△ 14,843	88.3
	経常損益 F=C+D-E	△ 571,241	△ 94,366	△ 476,874	-
	特別利益 G	0	1,549,965	△ 1,549,965	皆減
	特別損失 H	0	0	0	-
	純 損 益	△ 571,241	1,455,599	△ 2,026,839	-
一志病院	医業収益 A	672,806	639,820	32,986	105.2
	医業費用 B	1,013,282	982,476	30,807	103.1
	医業損益 C=A-B	△ 340,476	△ 342,656	2,180	-
	医業外収益 D	424,275	457,529	△ 33,253	92.7
	医業外費用 E	29,325	30,112	△ 787	97.4
	経常損益 F=C+D-E	54,474	84,761	△ 30,287	64.3
	特別利益 G	0	87,185	△ 87,185	皆減
	特別損失 H	0	0	0	-
	純 損 益	54,474	171,946	△ 117,472	31.7
志摩病院	医業収益 A	6,906	6,301	605	109.6
	医業費用 B	1,201,730	931,572	270,158	129.0
	医業損益 C=A-B	△ 1,194,824	△ 925,271	△ 269,553	-
	医業外収益 D	1,246,715	948,197	298,518	131.5
	医業外費用 E	58,479	60,957	△ 2,478	95.9
	経常損益 F=C+D-E	△ 6,588	△ 38,031	31,443	-
	特別利益 G	0	1,299,990	△ 1,299,990	皆減
	特別損失 H	0	0	0	-
	純 損 益	△ 6,588	1,261,959	△ 1,268,548	-
県立病院課	医業収益 A	0	0	0	-
	医業費用 B	114,816	99,661	15,154	115.2
	医業損益 C=A-B	△ 114,816	△ 99,661	△ 15,154	-
	医業外収益 D	115,527	99,803	15,724	115.8
	医業外費用 E	712	625	86	113.8
	経常損益 F=C+D-E	0	△ 484	484	-
	特別利益 G	0	484	△ 484	皆減
	特別損失 H	0	0	0	-
	純 損 益	0	0	0	-
合計	医業収益 A	2,431,544	2,418,268	13,276	100.5
	医業費用 B	5,654,272	5,095,700	558,573	111.0
	医業損益 C=A-B	△ 3,222,728	△ 2,677,432	△ 545,297	-
	医業外収益 D	2,899,440	2,847,399	52,041	101.8
	医業外費用 E	200,067	218,088	△ 18,021	91.7
	経常損益 F=C+D-E	△ 523,354	△ 48,120	△ 475,234	-
	特別利益 G	0	2,937,625	△ 2,937,625	皆減
	特別損失 H	0	0	0	-
	純 損 益	△ 523,354	2,889,504	△ 3,412,859	-

(注) 1 医業損益は、医業収益から医業費用を差し引いたもの。経常損益は、医業損益に医業外収益を加えて医業外費用を差し引いたもの。純損益は、経常損益に特別利益を加えて特別損失を差し引いたもの。特別利益、特別損失の計上がない場合は、経常損益と純損益は同額となる。なお、志摩病院は指定管理者の収支を含んでいない。

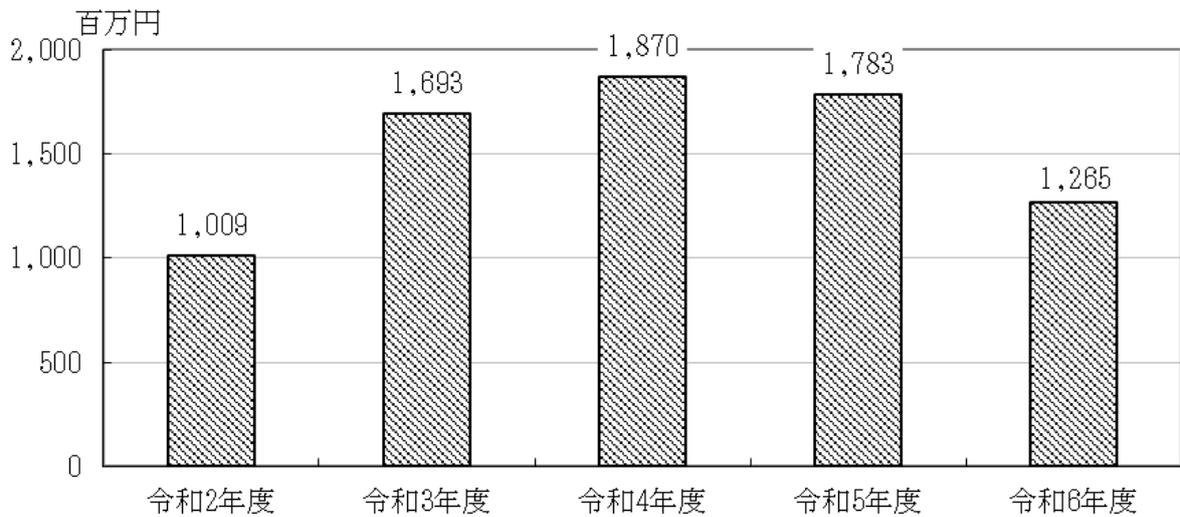
2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

未処理欠損金（累積欠損金）の推移



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

内部留保資金の推移



(注) 流動資産から流動負債（企業債を除く）を差し引いたもので、資金繰りの状況を示す数値。資金不足比率の算出方法に基づき算出している。

## ア こころの医療センター

入院患者数の減少により医業収益は2,031万5,560円減少し、新型コロナの病床確保に係る国からの交付金の皆減により医業外収益が2億2,894万8,148円減少したことに加え、給与費や経費の増に伴い医業費用が2億4,245万3,025円増加したことにより、経常損益は、前年度に比べ4億7,687万4,215円悪化し5億7,124万646円の経常損失となり2年連続の赤字となった。

患者数の減少に加え、近年の急激な人件費の上昇や物価高騰により収支の悪化が懸念される中で、患者数の確保や診療単価の向上等により収益の増加を図るとともに、引き続き経営改善プロジェクトの取組を中心に、コスト管理を徹底し費用の削減を図るなど、一層の経営改善に努められたい。また、医師不足が継続しているため県民の求める医療が着実に提供できるよう大学等への派遣要請を継続するとともに、魅力ある病院づくりを行うことにより医療従事者の確保や定着、患者満足度の向上に努められたい。

また、精神科救急・急性期医療及び認知症治療、依存症治療等の専門的医療を提供しながら、「入院医療中心から地域生活支援中心へ」という精神科医療の方向性を踏まえ、多様な医療ニーズに応じたきめ細かなサービスの提供に努めるとともに、災害発生時や新興感染症の拡大時においても精神科医療の中核病院として役割を果たされたい。

## イ 一志病院

患者数が減少傾向にある中で、地域包括ケア病床の活用に伴う診療単価の増により医業収益は3,298万6,415円増加した一方、新型コロナの病床確保に係る国からの交付金の皆減により医業外収益が3,325万3,284円減少したことに加え、給与費の増等に伴い医業費用が3,080万6,831円増加した。その結果、経常損益は前年度に比べ3,028万6,686円悪化したものの、平成25年度から12年連続の黒字となる5,447万4,327円の経常利益となっている。

今後も引き続き公立病院としての役割を果たしていくことができるよう、積極的な地域包括ケア病床の活用、訪問診療等の在宅療養支援、住民健診等の予防医療の取組等、地域のニーズに沿った医療を幅広く提供しながら収益の増加を図るなど健全な経営に努められたい。

また、総合診療医を中心としたプライマリ・ケアの実践により地域に最適な医療サービスを安定的に提供しながら、総合診療医やプライマリ・ケアエキスパートナース等の地域に貢献する医療人材の育成に取り組まれたい。

## ウ 志摩病院

指定管理制度導入後、地域のニーズに応じた診療機能の充実、医師の確保等に取り組んでいるが、入院患者数は前年度より増加したものの減少傾向にあり、指定管理者の令和5年度決算において経常損失を計上したことに伴い、地域の診療機能を維持・

確保するための地域医療確保交付金が第2期指定管理期間で初めて支給された。

第2期指定管理期間に係る「三重県立志摩病院の管理運営に関する基本協定書」（以下「基本協定書」という。）では、政策的医療交付金により、必要な診療機能の確保による良質で満足度の高い医療の安定的・継続的な提供を求めているほか、地域の中核病院としての診療機能を維持・確保するため、経営努力によってもやむを得ず不採算となった特定診療科について、県の地域医療確保交付金制度により支援することとしている。

引き続き基本協定書に基づき、志摩地域の中核的な医療機関として安定的・継続的に医療が提供されるよう、指定管理者と十分な連携を図り、二次救急医療等の診療機能の充実、医師の確保等に取り組むとともに、経営努力によってもやむを得ず不採算となった特定診療科への支援など、診療機能を維持しながら経営改善が着実に進められるよう、指定管理者に対する指導や支援を行われたい。

## (2) 未収金の回収と発生防止について

令和6年度末における病院事業庁全体の診療費自己負担金の未収金は、前年度に比べて97万6,311円減少し4,890万5円となっている。

令和6年度については、引き続き電話督促、催告書の送付、臨戸訪問等を行うとともに、回収困難案件については弁護士法人に回収委託を行ったが、未収金の回収額は、令和5年度に比べて115万9,593円減少し299万227円となっている。さらに、未収金の新規発生額は、高額療養費制度等の各種福祉制度の申請支援やクレジットカードによる収納等に取り組んでいるが、前年度に比べて60万4,696円増加し408万7,752円となっている。

このため、未収金の早期回収に取り組むとともに、引き続き未収金の発生防止の取組をより着実に実施されたい。

診療費自己負担金の過年度未収金

(単位: 件、千円)

病 院 名	区分	令和6年度末 (A)	令和5年度末 (B)	比較増減 (A)-(B)
こころの医療センター	件数	219	212	7
	金額	37,129	36,924	205
一志病院	件数	46	65	△ 19
	金額	892	1,087	△ 195
志摩病院	件数	97	101	△ 4
	金額	10,879	11,866	△ 986
合 計	件数	362	378	△ 16
	金額	48,900	49,876	△ 976

(注) 1 志摩病院分は、指定管理者による運営に移行する以前の未収金（平成24年3月31日までに発生したもの）であり、本庁（県立病院課）が所管している。

2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

未収金増減の内訳

(単位: 件、千円)

病院名	区分	令和6年度				令和5年度				比較増減		
		新規発生 (A)	回収 (B)	不納欠損 (C)	計 (A-B-C)	新規発生 (a)	回収 (b)	不納欠損 (c)	計 (a-b-c)	新規発生 (A-a)	回収 (B-b)	不納欠損 (C-c)
こころの医療センター	件数	22	10	5	7	18	31	1	△14	4	△21	4
	金額	4,088	2,267	1,616	205	3,452	3,306	71	75	636	△1,039	1,545
一志病院	件数	0	19	0	△19	5	12	0	△7	△5	7	0
	金額	0	195	0	△195	26	203	0	△177	△26	△8	0
志摩病院	件数	0	1	3	△4	0	5	1	△6	0	△4	2
	金額	0	529	458	△986	5	641	219	△855	△5	△113	239
合 計	件数	22	30	8	△16	23	48	2	△27	△1	△18	6
	金額	4,088	2,990	2,074	△976	3,483	4,150	290	△957	605	△1,160	1,783

(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

### 第3 経営の概要

#### 1 事業の概況

病院事業は、病院事業庁が総合医療センター、こころの医療センター、一志病院及び志摩病院の4病院を運営してきたが、平成24年4月からは、総合医療センターが地方独立行政法人に移行したことから3病院になったほか、志摩病院については指定管理者制度を導入している。

3病院の許可病床数は、令和6年度末時点で計736床である。こころの医療センターは、許可病床数、稼働病床数ともに318床である。一志病院は、許可病床数は82床であるが、療養病床全36床が休床中であったため、稼働病床数は一般病床46床となっていたが、療養病床は令和6年度末をもって全て廃止した。

志摩病院は、許可病床数が336床であるが、一般病床90床が休床となっており、稼働病床数は一般病床146床及び精神病床100床の合計246床である。

#### 県立病院の概要

令和7年3月31日現在

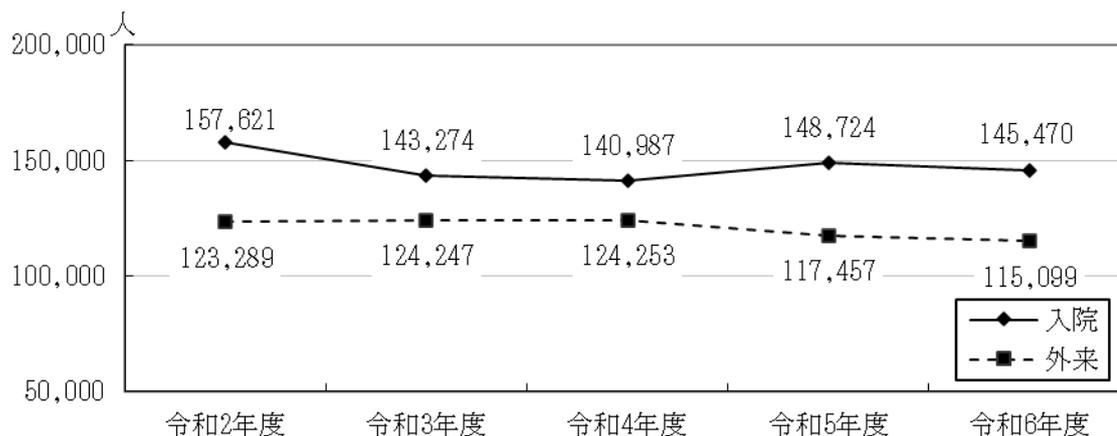
病院名		こころの医療センター	一志病院	志摩病院
診療科目 (休診中のものを除く)		精神科、内科、 脳神経内科、歯科 (内科・歯科は入院患者 にのみ対応)	内科、外科、整形外科、 眼科	内科、循環器内科、外 科、脳神経外科、小児 科、産婦人科、整形外 科、皮膚科、泌尿器科、 眼科、耳鼻いんこう科、 精神科、脳神経内科、放 射線科、漢方内科、漢方 皮膚科
許可 病床 数	一般		46 (46)	236 (146)
	療養		36 ( 0)	
	精神	318 (318)		100 (100)
	計	318 (318)	82 (46)	336 (246)

(注) 許可病床数の( )は、稼働病床数

#### 2 患者数の状況

令和6年度の入院患者数は延べ145,470人(1日平均399人)で、前年度に比べ3,254人減少し、外来患者数は延べ115,099人(1日平均474人)で、前年度に比べ2,358人減少している。

患者数の推移



### 3 決算の状況

#### (1) 予算の執行状況

##### ア 収益的収入及び支出

収入

(単位: 円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B) - (A)	収入率 (B) / (A)
病院事業収益	5,344,638,000	5,344,539,139	△ 98,861	100.0%
医業収益	2,434,389,000	2,442,655,298	8,266,298	100.3%
医業外収益	2,910,249,000	2,901,883,841	△ 8,365,159	99.7%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

支出

(単位: 円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	不用額 (A) - (B)	執行率 (B) / (A)
病院事業費用	5,923,082,000	5,865,822,546	57,259,454	99.0%
医業費用	5,801,025,346	5,743,765,892	57,259,454	99.0%
医業外費用	122,056,654	122,056,654	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 病院事業収益の決算額が予算額を 98,861 円下回っているのは、主に医業外収益が見込みより少なかったことによる。
- ② 病院事業費用の決算額が予算額を 5,725 万 9,454 円下回っているのは、主に経費(光熱水費、委託費等)等の医業費用の執行残による。

## イ 資本的収入及び支出

収 入

(単位: 円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	予算額に対する 決算額の増減 (B)-(A)	収入率 (B)/(A)
資本的収入	838,650,000	827,153,350	△ 11,496,650	98.6%
企業債	397,400,000	393,000,000	△ 4,400,000	98.9%
県費負担金	427,928,000	423,664,350	△ 4,263,650	99.0%
国庫補助金	9,290,000	9,289,000	△ 1,000	100.0%
固定資産売却代金	2,832,000	0	△ 2,832,000	-
長期貸付金返還金	1,200,000	1,200,000	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む(ただし、課税取引なし)。

支 出

(単位: 円)

区 分	予算額(A)	決算額(B)	繰越額(C)	不用額 (A)-(B)-(C)	執行率 (B)/(A)
資本的支出	1,249,535,000	1,234,039,882	1,798,280	13,696,838	98.8%
建設改良費	422,388,000	406,894,158	1,798,280	13,695,562	96.3%
企業債償還金	737,147,000	737,145,724	0	1,276	100.0%
長期借入金償還金	90,000,000	90,000,000	0	0	100.0%

(注) 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。

- ① 資本的収入の決算額が予算額を1,149万6,650円下回っているのは、主に建設改良費が見込みより少なかったことに伴う企業債の減による。
- ② 資本的支出の決算額及び繰越額の合計が予算額を1,369万6,838円下回っているのは、主に病院増改築工事費等の建設改良費の執行残による。
- ③ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額4億688万6,532円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額135万325円及び過年度分損益勘定留保資金4億553万6,207円で補てんしている。

## (2) 経営成績

病院事業の収益的収支

(単位：円)

科目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	5,330,984,407	8,203,291,831	△ 2,872,307,424	65.0%
医業収益	2,431,543,994	2,418,267,909	13,276,085	100.5%
医業外収益	2,899,440,413	2,847,399,351	52,041,062	101.8%
特別利益	0	2,937,624,571	△ 2,937,624,571	皆減
総費用	5,854,338,903	5,313,787,403	540,551,500	110.2%
医業費用	5,654,272,177	5,095,699,550	558,572,627	111.0%
医業外費用	200,066,726	218,087,853	△ 18,021,127	91.7%
医業損益	△ 3,222,728,183	△ 2,677,431,641	△ 545,296,542	-
経常損益	△ 523,354,496	△ 48,120,143	△ 475,234,353	-
純損益	△ 523,354,496	2,889,504,428	△ 3,412,858,924	-

令和6年度の総収益は53億3,098万4,407円で、前年度に比べ28億7,230万7,424円減少している。これは主に、令和5年度に計上していた過年度の長期前受金収益化の補正に伴う特別利益の皆減による。

総費用は58億5,433万8,903円で、前年度に比べ5億4,055万1,500円増加している。これは主に、人事委員会勧告等に鑑みた給与改定等や指定管理者への交付金の増に伴う医業費用の増による。

この結果、純損益は5億2,335万4,496円の赤字となり、前年度に比べ34億1,285万8,924円悪化している。

なお、病院別の純損益は、こころの医療センターが5億7,124万646円の赤字、一志病院が5,447万4,327円の黒字、志摩病院が658万8,177円の赤字となっている。

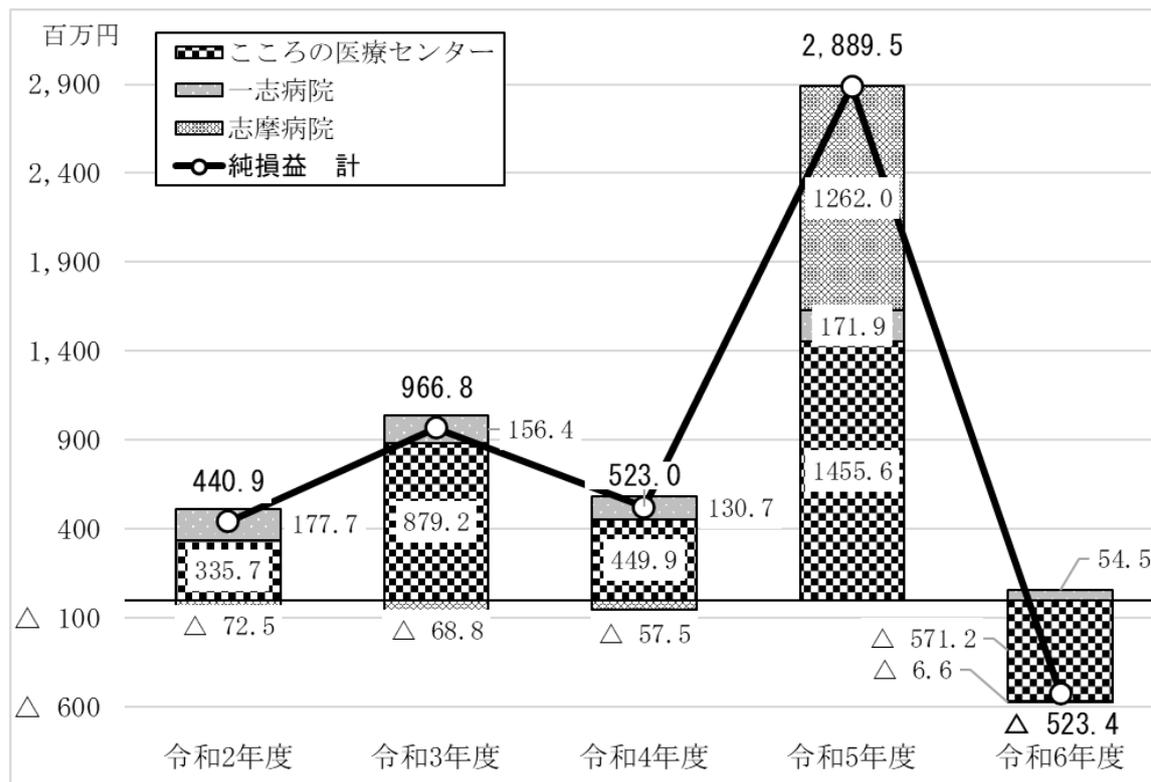
病院別純損益の状況

(単位：円)

病院名等	総収益(A)	総費用(B)	純損益(A)-(B)
こころの医療センター	2,864,754,199	3,435,994,845	△ 571,240,646
一志病院	1,097,081,658	1,042,607,331	54,474,327
志摩病院	1,253,621,273	1,260,209,450	△ 6,588,177
県立病院課	115,527,277	115,527,277	0
合計	5,330,984,407	5,854,338,903	△ 523,354,496

病院別純損益の推移

(単位：百万円)



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

(3) 一般会計繰入金

(単位：円)

病院名等	区分	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (A) - (B)	比率 (A) / (B)
こころの医療センター	収益的収入	965,281,238	1,191,312,000	△ 226,030,762	81.0%
	資本的収入	254,680,875	248,601,461	6,079,414	102.4%
	計	1,219,962,113	1,439,913,461	△ 219,951,348	84.7%
一志病院	収益的収入	358,452,544	402,940,000	△ 44,487,456	89.0%
	資本的収入	37,041,020	21,924,001	15,117,019	169.0%
	計	395,493,564	424,864,001	△ 29,370,437	93.1%
志摩病院	収益的収入	947,289,687	640,738,000	306,551,687	147.8%
	資本的収入	131,917,455	132,591,375	△ 673,920	99.5%
	計	1,079,207,142	773,329,375	305,877,767	139.6%
県立病院課	収益的収入	114,115,180	98,724,000	15,391,180	115.6%
	資本的収入	25,000	462,500	△ 437,500	5.4%
	計	114,140,180	99,186,500	14,953,680	115.1%
合計	収益的収入	2,385,138,649	2,333,714,000	51,424,649	102.2%
	資本的収入	423,664,350	403,579,337	20,085,013	105.0%
	計	2,808,802,999	2,737,293,337	71,509,662	102.6%

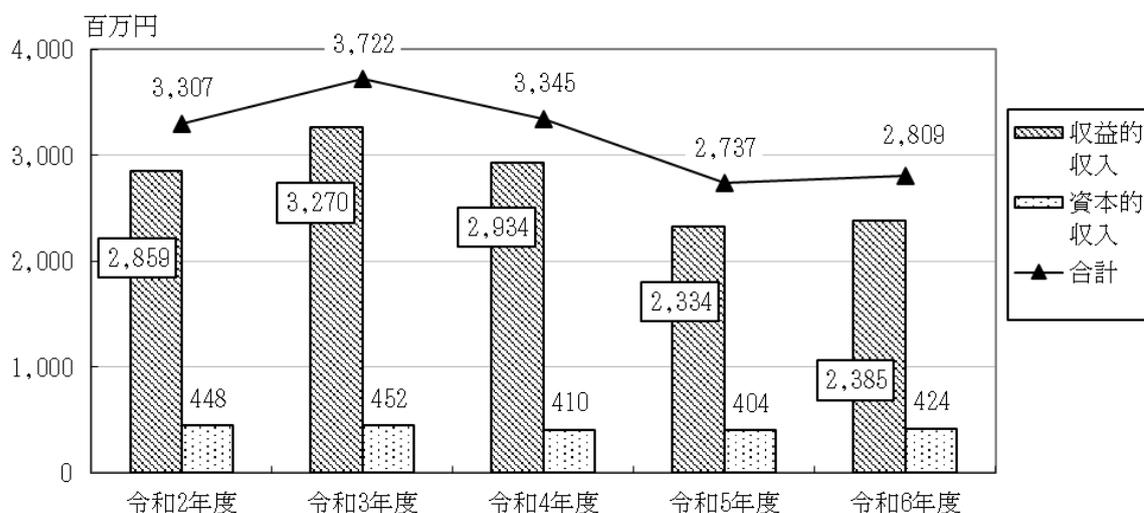
(注) 1 収益的収入：病院運営に係る政策的医療及び不採算医療等に要する経費の繰入金  
 2 資本的収入：建設改良に要する経費の繰入金

救急医療の確保、特殊医療に要する経費など、経営による収入をもって充てることが適当でない経費等については、総務省から繰出基準が示されており、これに基づき一般会計から繰入が行われている。

令和6年度の収益的収入の繰入金は、23億8,513万8,649円で、前年度に比べ5,142万4,649円増加している。これは主に、志摩病院の指定管理者への交付金が増加したことに伴う繰入金の増による。

資本的収入の繰入金は、4億2,366万4,350円で、前年度に比べ2,008万5,013円増加している。これは主に、企業債償還金の増に伴う繰入金の増による。

一般会計繰入金の推移



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

#### (4) 剰余金計算書

(単位：円)

区分	令和5年度末 残高	令和5年度 処分額	令和6年度 変動額	令和6年度末 残高
資本金	311,409,778	0	0	311,409,778
剰余金	△ 3,028,031,300	0	△ 523,354,496	△ 3,551,385,796
資本剰余金	1,371,558,750	0	0	1,371,558,750
受贈財産評価額	12,058,750	0	0	12,058,750
補助金	0	0	0	0
県費負担金	1,359,500,000	0	0	1,359,500,000
その他資本剰余金	0	0	0	0
利益剰余金	△ 4,399,590,050	0	△ 523,354,496	△ 4,922,944,546
未処分利益剰余金 (△は未処理欠損金)	△ 4,399,590,050	0	△ 523,354,496	△ 4,922,944,546
資本合計	△ 2,716,621,522	0	△ 523,354,496	△ 3,239,976,018

① 資本金の令和6年度末残高は、令和5年度末から変動がなかったため、令和5年度末残高と同額の3億1,140万9,778円となっている。

② 剰余金の令和6年度末残高は、令和5年度末残高△30億2,803万1,300円から未処分欠損金により5億2,335万4,496円減少し、△35億5,138万5,796円となって

いる。

なお、未処理欠損金の令和6年度末残高は、令和5年度末残高43億9,959万50円から令和6年度の純損失分5億2,335万4,496円が増加し、49億2,294万4,546円となっている。

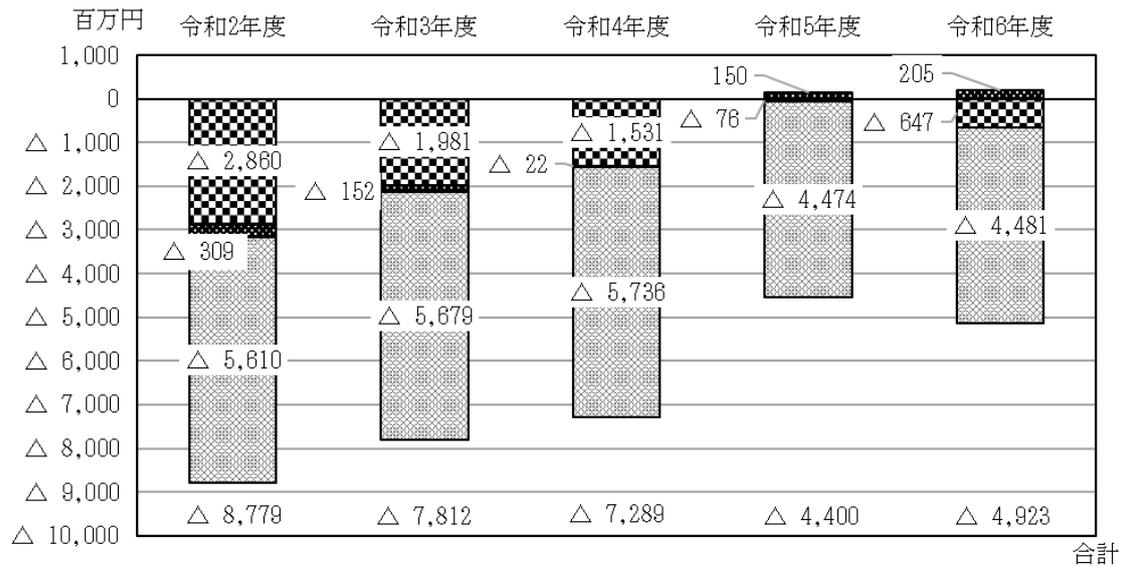
(5) 欠損金処理計算書

(単位：円)

区分	令和6年度末残高	欠損金処理額	処理後残高
資本金	311,409,778	0	311,409,778
剰余金	△ 3,551,385,796	0	△ 3,551,385,796
資本剰余金	1,371,558,750	0	1,371,558,750
未処理欠損金	△ 4,922,944,546	0	△ 4,922,944,546

未処理欠損金49億2,294万4,546円は、その全額を翌年度へ繰り越している。

未処理欠損金（累積欠損金）の推移（再掲）



(注) 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

令和6年度末の未処理欠損金（累積欠損金）の残高は、49億2,294万4,546円で、その内訳は、こころの医療センターが6億4,685万3,637円、志摩病院が44億8,094万9,121円となっている。なお、一志病院では、利益剰余金が2億485万8,212円となっている。

## (6) 財政状態

## ア 貸借対照表

(単位：円)

科目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
固定資産	7,493,801,809	7,694,271,090	△ 200,469,281	97.4%
流動資産	1,828,568,420	2,310,895,423	△ 482,327,003	79.1%
<b>資産合計</b>	<b>9,322,370,229</b>	<b>10,005,166,513</b>	<b>△ 682,796,284</b>	<b>93.2%</b>
固定負債	10,157,027,144	10,459,862,809	△ 302,835,665	97.1%
流動負債	1,302,848,567	1,265,114,674	37,733,893	103.0%
繰延収益	1,102,470,536	996,810,552	105,659,984	110.6%
<b>負債合計</b>	<b>12,562,346,247</b>	<b>12,721,788,035</b>	<b>△ 159,441,788</b>	<b>98.7%</b>
資本金	311,409,778	311,409,778	0	100.0%
剰余金	△ 3,551,385,796	△ 3,028,031,300	△ 523,354,496	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 3,239,976,018</b>	<b>△ 2,716,621,522</b>	<b>△ 523,354,496</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>9,322,370,229</b>	<b>10,005,166,513</b>	<b>△ 682,796,284</b>	<b>93.2%</b>

## (ア) 固定資産

決算額は74億9,380万1,809円で、前年度に比べ2億46万9,281円(2.6%)減少している。これは主に、施設・設備の減価償却による。

## (イ) 流動資産

決算額は18億2,856万8,420円で、前年度に比べ4億8,232万7,003円(20.9%)減少している。これは主に、給与費等の増に伴う現金預金の減による。

## (ロ) 固定負債

決算額は101億5,702万7,144円で、前年度に比べ3億283万5,665円(2.9%)減少している。これは主に、企業債の元金償還に伴う残高の減による。

## (ハ) 流動負債

決算額は13億284万8,567円で、前年度に比べ3,773万3,893円(3.0%)増加している。これは主に、賞与引当金の増による。

## (ニ) 繰延収益

決算額は11億247万536円で、前年度に比べ1億565万9,984円(10.6%)増加している。これは、長期前受金の増による。

## (ホ) 資本金

決算額は3億1,140万9,778円で、前年度と同額である。

## (ヘ) 剰余金(△は未処理欠損金)

決算額は△35億5,138万5,796円で、前年度に比べ5億2,335万4,496円未処理欠損金が増加している。これは、純損失が生じたことによる。

## イ 経営分析

項目		令和6年度	令和5年度	(参考) 令和5年度 全国平均	算式
資産・資本	自己資本構成比率 (%)	△ 22.9	△ 17.2	18.1	$\frac{\text{自己資本}}{\text{総資本}} \times 100$
	固定資産対長期資本比率 (%)	93.4	88.0	92.2	$\frac{\text{固定資産}}{\text{(固定負債+自己資本)}} \times 100$
	流動比率 (%)	140.4	182.7	137.3	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$
回転率	固定資産回転率 (回)	0.36	0.35	0.73	$\frac{\text{医業収益}}{\text{(期首固定資産+期末固定資産)/2}}$
	未収金回転率 (回)	5.96	3.23	4.94	$\frac{\text{医業収益}}{\text{(期首未収金+期末未収金)/2}}$
収益	総資本経常利益率 (%)	△ 5.42	△ 0.47	0.41	$\frac{\text{経常利益}}{\text{(期首総資本+期末総資本)/2}} \times 100$
	経常収支比率 (%)	91.1	99.1	96.4	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$
	職員1人あたり医業収益 (千円)	8,425	8,334	14,011	$\frac{\text{医業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$

- (注) 1 自己資本＝資本金＋剰余金＋繰延収益  
 2 総資本＝負債・資本合計  
 3 損益勘定所属職員数＝医業活動に従事する職員数  
 4 令和5年度全国平均は、「令和5年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」の都道府県立病院の平均値  
 5 本表の数値は、総務省地方公営企業決算状況調査（以下「決算統計」という。）データに基づき算出している

### (ア) 自己資本構成比率

総資本（負債・資本合計）に占める自己資本の割合を示し、割合が高いほど財政基盤が安定していることを表す。全国平均より低い。これは、累積欠損金により自己資本がマイナスであることによる。

### (イ) 固定資産対長期資本比率

長期資本に対する固定資産の割合を示し、割合が低いほど財政基盤が安定し、100%を上回ると過大投資となることを表す。全国平均と同程度である。

### (ウ) 流動比率

1年以内の短期的な支払能力を示し、100%を上回ることが必要であり、割合が高いほど経営の安全度が高いことを表す。全国平均と同程度である。

### (エ) 固定資産回転率

固定資産がどの程度経営活動に利用されているかを示し、割合が高いほど固定資産が有効に利用されていることを表す。全国平均より低い。これは主に、志摩病院の指定管理者の入院・外来収益が、医業収益に含まれないことによる。

### (オ) 未収金回転率

未収金に対する医業収益の割合を示し、一般的に割合が高いほど未収期間が短く、早期に回収されていることを表す。全国平均より高い。

(カ) 総資本経常利益率

総資本（負債・資本合計）の投入によりどれだけ経常利益を上げたかを示し、割合が高いほど総合的な収益性が高いことを表す。全国平均より若干低い。これは経常損益が赤字であることによる。

(キ) 経常収支比率

経常費用に対する経常収益の割合を示し、割合が高いほど収益性が高いことを表す。全国平均より若干低い。

(ク) 職員1人あたり医業収益

職員1人あたりの医業収益を示し、金額が大きいほど収益性が高いことを表す。全国平均より低い。これは主に、大規模になる程高くなる傾向にある中で、三重県病院事業は大規模で直営の一般病院がないことによる。

ウ キャッシュ・フロー計算書

(単位：円)

項 目	令和6年度(A)	令和5年度(B)	比較増減(A)-(B)
業務活動によるキャッシュ・フロー①	△ 89,229,997	909,845,748	△ 999,075,745
投資活動によるキャッシュ・フロー②	28,609,517	63,419,458	△ 34,809,941
財務活動によるキャッシュ・フロー③	△ 434,145,724	△ 428,050,107	△ 6,095,617
資金増減額 (①+②+③)	△ 494,766,204	545,215,099	△ 1,039,981,303
資金期首残高	1,841,130,575	1,295,915,476	545,215,099
資金期末残高	1,346,364,371	1,841,130,575	△ 494,766,204

業務活動によるキャッシュ・フローは、当年度純損失等によりマイナス 8,922 万 9,997 円となり、前年度に比べ 9 億 9,907 万 5,745 円減少している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、一般会計繰入金による収入 4 億 2,366 万 4,350 円などによりプラス 2,860 万 9,517 円となり、固定資産売却収入の皆減等により前年度に比べ 3,480 万 9,941 円減少している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、企業債の償還による支出 7 億 3,714 万 5,724 円などによりマイナス 4 億 3,414 万 5,724 円となり、企業債償還金の増等により前年度に比べ 609 万 5,617 円減少している。

この結果、令和 6 年度の資金期末残高は、資金期首残高に比べ 4 億 9,476 万 6,204 円減少し 13 億 4,636 万 4,371 円となった。

- (注) 1 業務活動によるキャッシュ・フロー (①)：事業本来の業務活動により、どれだけ資金の増減があったかを表す。  
2 投資活動によるキャッシュ・フロー (②)：固定資産の取得や企業債の償還に係る一般会計繰入金の受入などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。  
3 財務活動によるキャッシュ・フロー (③)：企業債の借入・償還などにより、どれだけ資金の増減があったかを表す。  
4 一般的には①はプラス、②及び③はマイナスとなり、①の額 > (②の額+③の額)の形がキャッシュ・フローが良い循環をしているといわれる (業務活動による収入で投資や借入金返済の資金を賄っている状態)。

## 第4 病院別の状況

### 1 こころの医療センター

#### (1) 病院の概況

こころの医療センターは、「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」により設置が義務づけられた県立精神科病院として、精神疾患の発生予防から医療、社会復帰までの精神医療ニーズに対応した専門医療を提供している。

特に、精神障がい者の社会復帰を積極的に促進するため、各種作業療法及びデイケアを行うとともに、アルコール依存症患者及び認知症患者についての専門的な治療も行い、県の精神科医療の基幹病院としての役割を果たしている。

今後の新興感染症に備えた病床の個室化に伴い、令和6年1月に許可病床数を348床から318床に減床しており、稼働病床数は許可病床数と同数である。

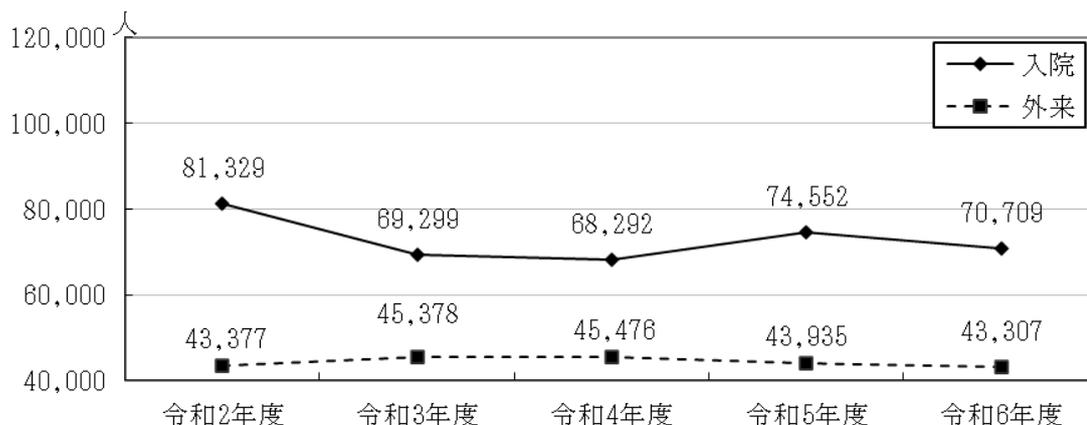
#### (2) 患者数の状況

令和6年度の延べ入院患者数は70,709人で、前年度に比べ3,843人減少している。病床利用率は60.9%で、前年度に比べ1.2ポイント減少している。

延べ外来患者数は43,307人で、前年度に比べ628人減少している。

項目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	70,709	74,552	△ 3,843
1日平均入院患者数 (人)	193.7	203.7	△ 10.0
延べ外来患者数 (人)	43,307	43,935	△ 628
1日平均外来患者数 (人)	178.2	180.8	△ 2.6
病床利用率 (%)	60.9	62.1	△ 1.2

患者数の推移



#### (3) 経営成績

総収益は28億6,475万4,199円で、前年度に比べ17億9,922万8,651円減少している。これは主に、令和5年度に計上していた特別利益の皆減による。

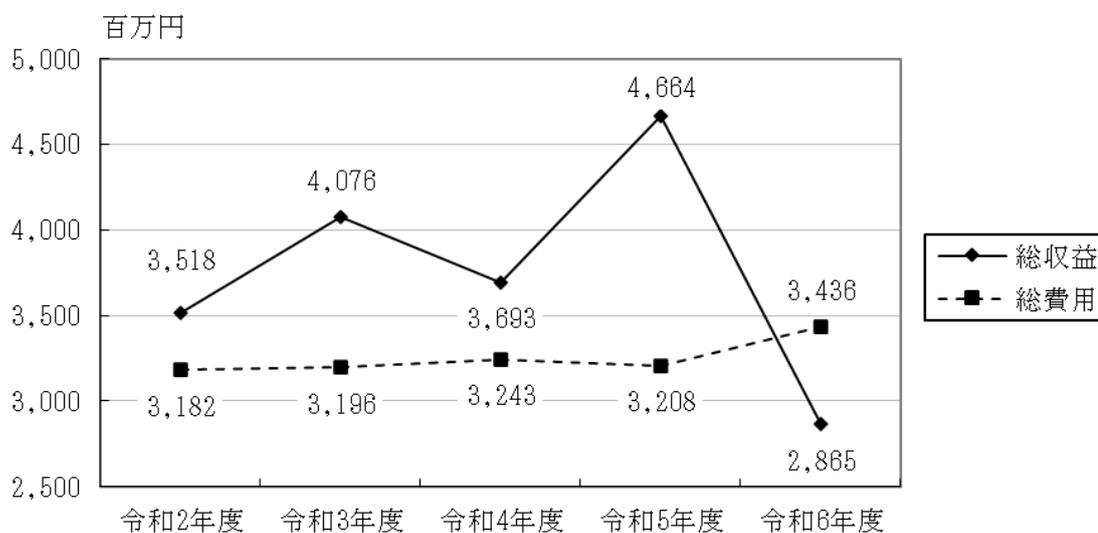
総費用は34億3,599万4,845円で、前年度に比べ2億2,761万507円増加している。これは主に、給与費の増による。

この結果、純損益は5億7,124万646円の赤字となり、前年度に比べ20億2,683万9,158円悪化している。

(単位：円)

科目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	2,864,754,199	4,663,982,850	△ 1,799,228,651	61.4%
医業収益	1,751,831,210	1,772,146,770	△ 20,315,560	98.9%
医業外収益	1,112,922,989	1,341,871,137	△ 228,948,148	82.9%
特別利益	0	1,549,964,943	△ 1,549,964,943	皆減
総費用	3,435,994,845	3,208,384,338	227,610,507	107.1%
医業費用	3,324,443,599	3,081,990,574	242,453,025	107.9%
医業外費用	111,551,246	126,393,764	△ 14,842,518	88.3%
医業損益	△ 1,572,612,389	△ 1,309,843,804	△ 262,768,585	-
経常損益	△ 571,240,646	△ 94,366,431	△ 476,874,215	-
純損益	△ 571,240,646	1,455,598,512	△ 2,026,839,158	-

総収益と総費用の推移



#### (4) 経営比較

全国の子精神科自治体病院との経営比較では、1日平均入院患者数及び同外来患者数について、全国平均より良好な値となっている。

(こころの医療センターは6年度、全国平均は5年度での比較)

項目	令和6年度	令和5年度	令和5年度 全国平均	備考
1日平均入院患者数 (人)	194	204	163	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	178	181	144	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	20,229	19,505	23,074	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	6,840	6,668	8,685	多いほど良い
経常収支比率 (%)	83.8	97.1	100.2	高いほど良い
医業収支比率 (%)	57.3	62.3	79.0	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	119.2	106.9	80.9	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	35.7	33.3	34.5	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常決算との差異)により、通常決算額や収支比率と差異が生じる。

① 繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

② 県立病院課の収入及び費用を全額2病院(こころの医療センター及び一志病院)に配賦

2 令和5年度全国平均は、「令和5年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(全事業の精神科病院平均)。

3 経常収支比率=経常収益/経常費用

4 医業収支比率=医業収益/医業費用

5 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

6 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における令和6年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和5年度 実績	令和6年度 目標	令和6年度 実績	
1 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る主要な取組	(1) 精神科救急・急性期医療の提供				
	精神科救急患者・緊急対応患者受入件数(件)	488	460	497	
	(2) 専門的医療の提供				
	①認知症治療	認知症入院患者数(人/日)	32.5	40.0	29.3
	②依存症治療	アルコール依存症入院患者数(人/日)	21.7	30.0	18.2
	③若年層への支援と早期介入・早期予防	YMSC※新規相談件数(件)	223	200	209
	④災害医療の取組	災害訓練実施回数(回)	1	1	1
	(3) 地域生活を支えるための支援				
	①デイケアサービス	デイケア・ショートケア延べ患者数(人)	9,483	12,500	9,558
	②訪問介護サービス	訪問看護延べ患者数(人)	3,803	5,000	3,901
	③入院患者の退院支援	在院3か月以内退院率(%)	79.4	77.6	81.6
	④関係機関との連携	障害福祉サービス事業所等との連携取組件数(件)	9	9	9
	⑤精神疾患・障がいにかかる普及啓発	こころしっとこセミナー開催件数(件)	35	35	32
	⑥家族支援の充実	家族等にむけた研修会の開催件数(件)	24	24	26
	(4) 人材育成の充実				
	①研修医・看護実習生等の受入れ	研修医・看護実習生等受入延べ人数(人)	2,168	1,900	1,663
	②職員の育成	人材育成研修回数(回)	5	6	6
	(5) 業務改善の推進				
	①危機管理対策	危機管理研修等参加率(%)	99.7	100.0	100.0
	②患者満足度の向上	患者満足度(%)	86.0	95.0	87.5
2 の 医 師 ・ 改 革 と 働 き 方 の 確 保	(1) 医師・看護師等の確保				
	医師充足率(%)	79.2	100.0	83.1	
	看護師充足率(%)	98.9	100.0	100.0	
3 向 け た 主 要 な 取 組 に 関 する	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保				
	経常収支比率(%)	97.1	94.1	83.4	
	医業収支比率(%)	57.5	63.5	52.7	
	1日平均入院患者数(人/日)	203.7	230.0	193.7	
	1日平均外来患者数(人/日)	180.8	200.0	178.2	

※ユース・メンタルサポートセンター

## 2 一志病院

### (1) 病院の概況

一志病院は、津市の白山及び美杉地域を中心とした診療圏において、救急医療及び高齢者医療を中心とした医療サービスを提供している。地域の過疎化・高齢化に対応するため、訪問診療等の在宅療養支援を進め、健康診断や健康教室の開催などの予防医療の普及啓発にも努めている。

また、平成19年度からは、内科において患者及び地域住民の健康問題を幅広く担当する家庭医療の実践に取り組んでいる。

許可病床数は、令和3年度に療養病床を40床から4床削減して36床とし、一般病床46床と合わせて82床となっている。なお、療養病床全36床が休床中であったため、稼働病床数は46床となっていたが、療養病床は令和6年度末をもって全て廃止した。

### (2) 患者数の状況

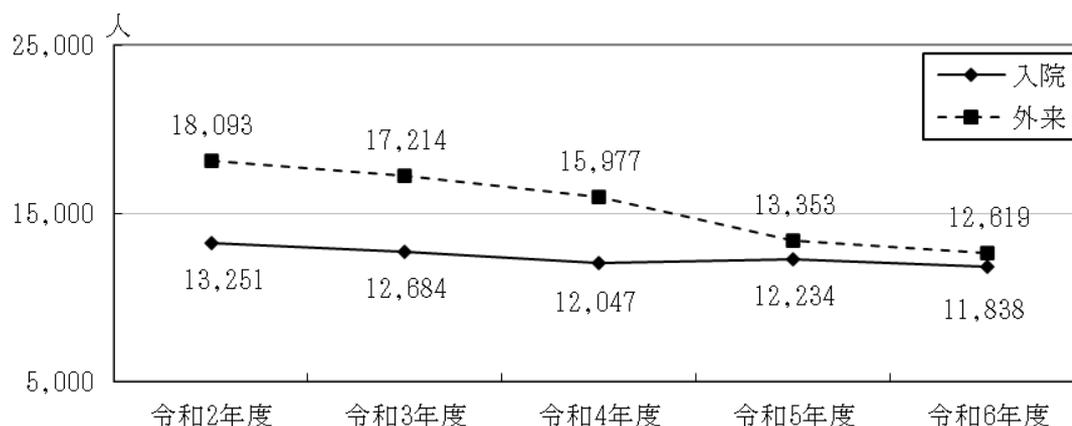
令和6年度の延べ入院患者数は11,838人で、前年度に比べ396人減少している。

休床を含む許可病床ベースの病床利用率は39.6%で、前年度に比べ1.2ポイント減少している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は70.5%で、前年度に比べ2.2ポイント減少している。

延べ外来患者数は12,619人で、前年度に比べ734人減少している。

項目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	11,838	12,234	△ 396
1日平均入院患者数 (人)	32.4	33.4	△ 1.0
延べ外来患者数 (人)	12,619	13,353	△ 734
1日平均外来患者数 (人)	51.9	55.0	△ 3.1
病床利用率(休床含む)(%)	39.6	40.8	△ 1.2
〃(休床除く)(%)	70.5	72.7	△ 2.2
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	27.9	23.9	4.0

患者数の推移



### (3) 経営成績

総収益は10億9,708万1,658円で、前年度に比べ8,745万2,302円減少している。これは主に、令和5年度に計上していた特別利益の皆減による。

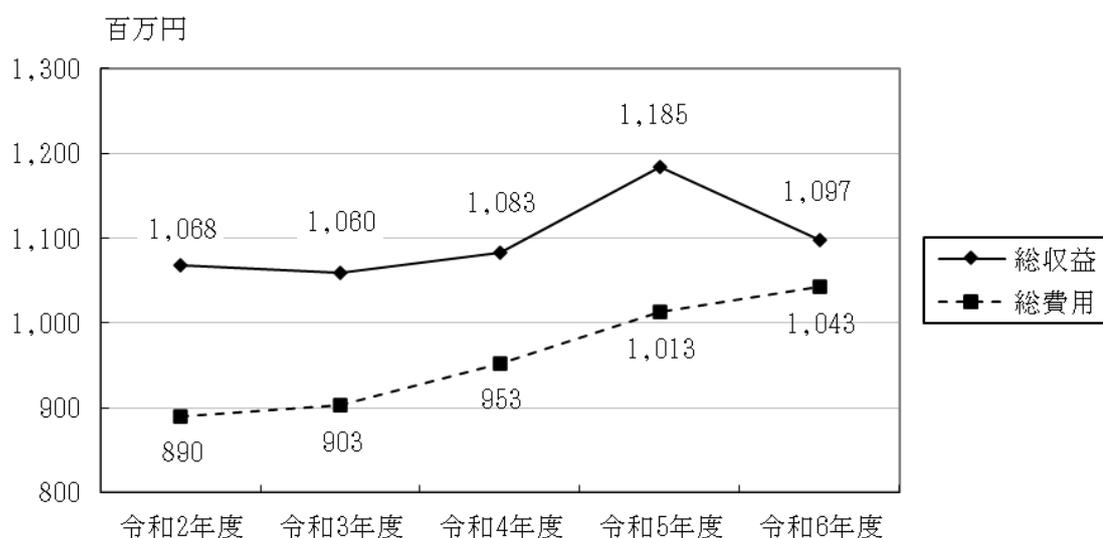
総費用は10億4,260万7,331円で、前年度に比べ3,001万9,817円増加している。これは主に、給与費の増による。

この結果、純損益は5,447万4,327円の黒字となったが、前年度に比べ1億1,747万2,119円悪化している。

(単位：円)

科目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	1,097,081,658	1,184,533,960	△ 87,452,302	92.6%
医業収益	672,806,362	639,819,947	32,986,415	105.2%
医業外収益	424,275,296	457,528,580	△ 33,253,284	92.7%
特別利益	0	87,185,433	△ 87,185,433	皆減
総費用	1,042,607,331	1,012,587,514	30,019,817	103.0%
医業費用	1,013,282,484	982,475,653	30,806,831	103.1%
医業外費用	29,324,847	30,111,861	△ 787,014	97.4%
医業損益	△ 340,476,122	△ 342,655,706	2,179,584	-
経常損益	54,474,327	84,761,013	△ 30,286,686	64.3%
純損益	54,474,327	171,946,446	△ 117,472,119	31.7%

総収益と総費用の推移



### (4) 経営比較

同規模の病床を持つ全国自治体病院との経営比較では、患者1人1日あたり入院収益、同外来収益、経常収支比率及び医業収支比率について、全国平均より良い値とな

っている。

(一志病院は6年度、全国平均は5年度での比較)

項 目	令和6年度	令和5年度	令和5年度全国平均		備考
			50床以上 100床未満	(参考) 50床未満	
1日平均入院患者数 (人)	32	33	44	21	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	52	55	128	85	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	36,214	31,647	27,505	26,146	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	11,800	10,400	9,156	8,164	多いほど良い
経常収支比率 (%)	105.1	108.2	96.6	97.3	高いほど良い
医業収支比率 (%)	75.5	73.8	73.1	63.1	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	80.6	81.5	78.1	85.6	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	34.0	34.4	24.2	33.6	低いほど良い

(注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。

※決算統計固有の事項(通常の決算との差異)により、通常の決算額や収支比率と差異が生じる。

① 繰入金の一部を医業外収益ではなく医業収益に算入

② 県立病院課の収入及び費用を全額2病院(こころの医療センター及び一志病院)に配賦

2 一志病院の許可病床数は82床、稼働病床数は46床

3 令和5年度全国平均は、「令和5年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」による(全事業の50床以上100床未満(及び50床未満)の病院平均)。

4 経常収支比率=経常収益/経常費用

5 医業収支比率=医業収益/医業費用

6 職員給与費対医業収益比率=職員給与費/医業収益

7 他会計繰入金対経常収益比率=他会計繰入金/経常収益

(5) 中期経営計画における令和6年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和5年度 実績	令和6年度 目標	令和6年度 実績	
1 医療機能や医療の質、 連携の強化等に係る主要な取組	(1) 地域医療の推進				
	①在宅療養支援	訪問診療、訪問看護等延べ患者数(人)	4,147	4,700	3,692
	②予防医療	住民健診、人間ドック、がん検診、特定保健指導受診者数(人)	973	1,200	946
	③救急医療	救急患者受入件数(件)	680	750	549
	④医療過疎地域への支援	医療過疎地域等への支援件数(件)	3	5	3
	⑤関係機関との連携	多職種連携による取組件数(件)	18	15	18
	(2) 人材育成の充実				
	①地域医療を担う医師の育成	研修医・医学生受入延べ人数(人)	427	500	598
	②看護実習生等の受入れ	看護実習生等受入延べ人数(人)	336	350	256
	③プライマリ・ケアセンターの運営	プライマリ・ケア研修会開催件数(件)	3	3	3
	(3) 地域医療に係る研究活動の推進				
		学会、論文等発表件数(件)	13	20	21
	(4) 業務改善の推進				
	①危機管理対策	危機管理研修等参加率(%)	100.0	100.0	100.0
②患者満足度の向上	患者満足度(%)	97.7	96.6	98.5	
2 医師の確保・看護 士の方改革	(1) 医師・看護師等の確保				
		医師充足率(%)	100.0	100.0	100.0
		看護師充足率(%)	100.0	100.0	100.0
3 に向けた主要な取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保				
		経常収支比率(%)	108.4	100.3	105.2
		医業収支比率(%)	65.1	63.3	66.4
		1日平均入院患者数(人/日)	33.4	36.0	32.4
		1日平均外来患者数(人/日)	55.0	61.0	51.9

### 3 志摩病院

#### (1) 病院の概況

志摩病院は、志摩地域の中核病院として、地域住民や観光客に質の高い医療サービスを提供し、二次救急医療や災害医療の中心的な役割と、地域医療支援病院として地域の病院や診療所を支援する役割を担っている。また、県内で数少ない精神病床を併せ持つ病院として、精神身体合併症患者への対応を行っている。

平成24年度から指定管理者により運営されている。許可病床数は、平成29年4月に一般病床を250床から14床削減して236床とし、精神病床100床と合わせて336床となっている。なお、一般病床90床が休床中であり、稼働病床数は246床となっている。

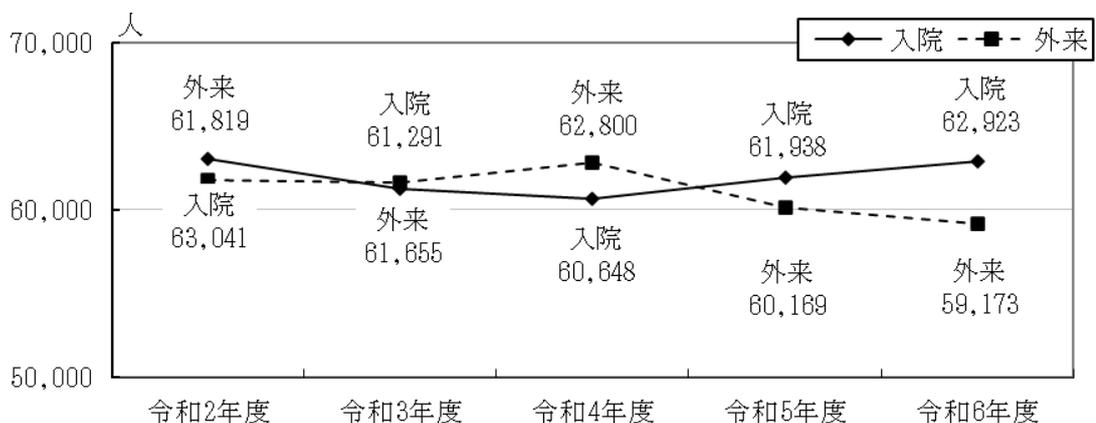
#### (2) 患者数の状況

令和6年度の延べ入院患者数は62,923人で、前年度に比べ985人増加している。休床を含む許可病床ベースの病床利用率は51.3%で、前年度に比べ0.9ポイント増加している。また、休床を除く稼働病床ベースの病床利用率は60.7%で、前年度に比べ1.1ポイント増加している。

延べ外来患者数は59,173人で、前年度に比べ996人減少している。

項目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (A)-(B)
延べ入院患者数 (人)	62,923	61,938	985
1日平均入院患者数 (人)	172.4	169.2	3.2
延べ外来患者数 (人)	59,173	60,169	△ 996
1日平均外来患者数 (人)	243.5	247.6	△ 4.1
病床利用率(休床含む) (%)	51.3	50.4	0.9
〃 (休床除く) (%)	60.7	59.6	1.1
平均在院日数 (一般病床のみ) (日)	17.0	16.6	0.4

患者数の推移



### (3) 経営成績

総収益は12億5,362万1,273円で、前年度に比べ10億86万6,958円減少している。これは主に、令和5年度に計上していた特別利益の皆減による。

総費用は12億6,020万9,450円で、前年度に比べ2億6,768万689円増加している。これは主に、地域医療確保交付金の皆増による。

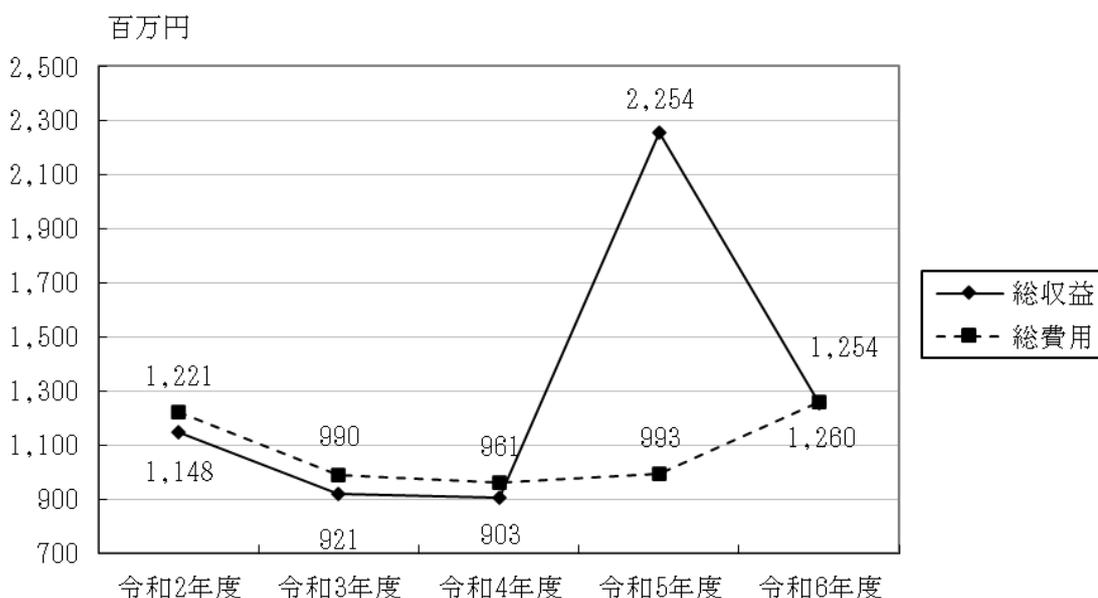
この結果、純損益は658万8,177円の赤字となり、前年度に比べ12億6,854万7,647円悪化している。

(単位：円)

科目	令和6年度 (A)	令和5年度 (B)	比較増減 (A)-(B)	比率 (A)/(B)
総収益	1,253,621,273	2,254,488,231	△ 1,000,866,958	55.6%
医業収益	6,906,422	6,301,192	605,230	109.6%
医業外収益	1,246,714,851	948,196,719	298,518,132	131.5%
特別利益	0	1,299,990,320	△ 1,299,990,320	皆減
総費用	1,260,209,450	992,528,761	267,680,689	127.0%
医業費用	1,201,730,385	931,572,012	270,158,373	129.0%
医業外費用	58,479,065	60,956,749	△ 2,477,684	95.9%
医業損益	△ 1,194,823,963	△ 925,270,820	△ 269,553,143	-
経常損益	△ 6,588,177	△ 38,030,850	31,442,673	-
純損益	△ 6,588,177	1,261,959,470	△ 1,268,547,647	-

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

総収益と総費用の推移



(4) 中期経営計画における令和6年度の目標及び実績値

中期経営計画における目標達成状況は、次のとおりである。

区分	目標項目	令和5年度 実績	令和6年度 目標	令和6年度 実績	
1 医療機能や医療の質、連携の強化等に係る主要な取組	(1) 地域医療の推進				
	①入院診療	1日平均入院患者数 (人/日)	169.2	180.0	172.4
	②外来診療	1日平均外来患者数 (人/日)	247.6	262.0	243.5
	③救急医療等	1か月平均救急患者数 (人/月)	358.2	362.0	332.2
	④へき地医療	間崎島への巡回診療実施回数 (件)	24	24	24
	⑤災害医療	災害訓練実施回数 (件)	2	2	2
	⑥多職種連携の推進	多職種研修会等実施回数 (回)	12	12	12
	(2) 人材育成の充実				
	①研修医の受入れ	初期研修医の受入数 (人)	7	6	6
	②医療人材の育成	実習生の受入数 (人)	408	440	361
	(3) 業務改善の推進				
①危機管理対策	危機管理研修等参加率 (%)	100.0	100.0	100.0	
②患者満足度の向上	患者満足度 (%)	97.2	95.0	96.5	
2 経営に向けた主要な取組	(1) 経常収支比率・医業収支比率の向上および患者数の確保				
		経常収支比率 (%) ※地域医療確保交付金を除く	92.1	93.0	94.5
		医業収支比率 (%)	75.3	77.2	75.5

(注) 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、指定管理業務に係る数値目標として設定している。

【参考】

1 指定管理者による志摩病院運営の収支（決算額）（単位：百万円）

	令和6年度	令和5年度	比較増減	主な増減理由
I 事業収益	3,190	3,146	44	
医業収益	3,083	3,049	34	
入院診療収益	2,284	2,227	57	入院患者数の増
外来診療収益	799	822	△ 23	外来患者数の減
医業外収益	107	97	10	
II 事業外収益	682	858	△ 176	国交付金の減
<b>収益計 A</b>	<b>3,872</b>	<b>4,004</b>	<b>△ 132</b>	
III 事業費用	4,199	4,343	△ 144	給与費の減
うち給与費	2,195	2,320	△ 125	
IV 事業外費用	9	6	3	
<b>費用計 B</b>	<b>4,208</b>	<b>4,349</b>	<b>△ 141</b>	
<b>経常損益 C (A-B)</b>	<b>△ 335</b>	<b>△ 345</b>	<b>10</b>	
V 臨時収益 D	0	0	0	
VI 臨時費用 E	0	25	△ 25	
<b>当期利益 (C+D-E)</b>	<b>△ 335</b>	<b>△ 371</b>	<b>36</b>	

(注) 1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含む。  
2 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

2 志摩病院における政策的医療交付金、経営基盤強化交付金（平成24年度～令和3年度）及び地域医療確保交付金（令和4年度～）の推移（単位：千円）

	指定管理（第一期）						指定管理（第二期）					
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	
政策的医療交付金（指定管理料）	474,816	481,948	485,780	516,680	524,630	559,296	581,124	594,143	590,447	620,094	696,824	
経営基盤強化交付金（赤字補てん）	401,917	220,354	251,856	134,284	69,287	156,489	235,797	0	0	-	-	
うち当年度分（当初交付額）	382,408	184,137	94,859	0	0	0	0	0	0	-	-	
うち前年度分（追加交付額）	19,509	36,217	156,997	134,284	69,287	156,489	235,797	0	0	-	-	
地域医療確保交付金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	231,146	
合計	876,733	702,302	737,636	650,964	593,917	715,785	816,921	594,143	590,447	620,094	927,970	

(注) 1 第一期基本協定書（平成24年度～令和3年度）における経営基盤強化交付金（赤字補てん）は、「平成29年度以降において、当該経常損失が生じた場合は、甲（注：県）及び乙（注：指定管理者）が協議するもの」としている。  
2 経営基盤強化交付金（赤字補てん）は、指定管理者の決算確定後に経常損失額から当

初交付額を差し引いた額を翌年度に追加交付しているため、当該年度の当初交付額と翌年度の追加交付額を合計した額が当該年度の赤字補てん額となる。

- 3 基本協定書では、経営基盤強化交付金に代わり、新たに地域医療確保交付金を創設している。地域医療確保交付金は、基本協定書において「地域の診療機能を維持するため、乙が効率的な管理運営を行ってもなお不採算となる診療科が生じた場合は、その診療科の経常損失相当額について、甲の予算の範囲内で交付金を乙に交付する」としている。
- 4 四捨五入のため、合計等が合わない場合がある。

### 3 志摩病院における救急患者の受入体制

#### 内科系（令和元年7月以降）

区分	月	火	水	木	金	土	日・祝
昼 間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	○	○
準夜間（17:00～22:30）	○	○	○	○	○	○	○
深 夜（22:30～8:30）	○	○	○	○	○	○	○

#### 外科系（令和7年4月1日～）

区分	月	火	水	木	金	土	日	祝
昼 間（8:30～17:00）	○	○	○	○	○	△	△	
準夜間（17:00～22:30）	○			○	○			
深 夜（22:30～8:30）								

（△は隔週で対応）

（注） 基本協定書では、「内科系の救急体制については、24時間365日受入体制を維持する」「外科系の救急体制については、24時間365日の受入体制の実現に努める」としている。

### 4 志摩病院における常勤医師数の推移

診療科等	県直営											指定管理（第一期）				指定管理（第二期）			
	H24.3	H24.4	H25.4	H26.4	H27.4	H28.4	H29.4	H30.4	H31.4	R2.4	R3.4	R4.4	R5.4	R6.4	R7.4				
内科および救急・総合診療科	5	7	11	17	11	14	14	11	10	9	11	10	10	8	8				
外科	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	5	5	3	2				
整形外科	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2				
脳神経外科	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
眼科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1				
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	1	1				
小児科	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0				
東洋医学・皮膚科	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0				
漢方内科・漢方皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1				
泌尿器科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
精神科	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2				
放射線科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
緩和ケア	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
小計	20	22	24	30	23	26	26	24	22	22	24	24	25	20	19				
初期研修医	1	2	2	2	3	4	2	2	4	4	6	6	7	6	6				
合計	21	24	26	32	26	30	28	26	26	26	30	30	32	26	25				

（出典）三重県病院事業庁提供資料

（注） 基本協定書では、医療従事者の確保について、「診療に支障が生じないよう常勤の医師、看護師等の医療従事者を、年間を通じて安定的かつ適切に配置することに努める」、「常勤医師の確保、増員を図るため、地域医療振興協会内他施設等から派遣を受けるとともに、三重大学医局等に対して医師派遣の要請、現地での医師募集、自治医大卒業医師の確保等

に努める」としている。

## 5 志摩病院における経営成績

項 目	令和6年度	令和5年度	令和5年度全国平均		備考
			300床以上 400床未満	200床以上 300床未満	
1日平均入院患者数 (人)	172	169	230	164	多いほど良い
1日平均外来患者数 (人)	244	248	562	389	多いほど良い
患者1人1日あたり入院収益 (円)	36,408	36,071	58,068	51,425	多いほど良い
患者1人1日あたり外来収益 (円)	13,520	13,676	16,620	13,484	多いほど良い
経常収支比率 (%)	94.5	91.6	95.6	93.3	高いほど良い
医業収支比率 (%)	75.5	70.0	88.8	84.2	高いほど良い
職員給与費対医業収益比率 (%)	67.9	70.8	57.3	61.4	低いほど良い
他会計繰入金対経常収益比率 (%)	15.5	15.3	11.0	14.3	低いほど良い

(出典) 三重県病院事業庁提供資料

(注) 1 この表における「経常収支比率」、「医業収支比率」、「職員給与費対医業収益比率」及び「他会計繰入金対経常収益比率」については、指定管理者における会計と、病院事業庁における会計を合算して算出している。また、算出において、政策的医療交付金等、一部の内容は2重計上としないよう調整している。

2 令和5年度全国平均は、「令和5年度地方公営企業年鑑（総務省自治財政局編）」による（全事業の300床以上400床未満（及び200床以上300床未満）の病院平均）。

## 6 県立病院課の中期経営計画における令和6年度の目標及び実績値

区分	目標項目	令和5年度 実績	令和6年度 目標	令和6年度 実績
1 各 県 立 病 院 に 対 す る 支 援	(1) 経常収支等の向上に向けた支援			
	経常収支比率 (%) ※こころの医療センター、一志病院、県立病院課を合計した値	99.8	95.7	88.8
	医業収支比率 (%) ※同上	57.9	62.1	54.5
	(2) 医師・看護師の確保			
	医師充足率 (%) ※こころの医療センターと一志病院を合計した値	87.4	100.0	87.9
	看護師充足率 (%) ※同上	100.0	100.0	100.0
	(3) 患者満足度の向上			
	患者満足度 (%) ※こころの医療センター、一志病院、志摩病院を合計した値	92.7	95.0	93.5

## 第5 決算諸表

### 1 損益計算書

#### 比較損益計算書（病院事業計）

（単位：円）

科 目	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	2,431,543,994	2,418,267,909	13,276,085	100.5%
入院収益	1,859,103,397	1,841,275,156	17,828,241	101.0%
外来収益	424,747,231	431,812,597	△ 7,065,366	98.4%
その他医業収益	147,693,366	145,180,156	2,513,210	101.7%
医業費用	5,654,272,177	5,095,699,550	558,572,627	111.0%
給与費	2,996,838,147	2,725,936,051	270,902,096	109.9%
材料費	251,295,184	251,576,766	△ 281,582	99.9%
経 費	1,829,069,361	1,505,790,269	323,279,092	121.5%
減価償却費	550,763,418	591,990,395	△ 41,226,977	93.0%
資産減耗費	14,338,864	8,469,022	5,869,842	169.3%
研究研修費	11,967,203	11,937,047	30,156	100.3%
<b>医業損益</b>	<b>△ 3,222,728,183</b>	<b>△ 2,677,431,641</b>	<b>△ 545,296,542</b>	-
医業外収益	2,899,440,413	2,847,399,351	52,041,062	101.8%
受取利息配当金	615,913	39,106	576,807	1575.0%
他会計補助金	119,470,000	123,963,000	△ 4,493,000	96.4%
長期前受金戻入	314,883,514	313,726,876	1,156,638	100.4%
補助金	6,388,800	6,552,000	△ 163,200	97.5%
負担金	2,265,668,649	2,209,751,000	55,917,649	102.5%
その他医業外収益	192,413,537	193,367,369	△ 953,832	99.5%
医業外費用	200,066,726	218,087,853	△ 18,021,127	91.7%
支払利息及び企業債取扱諸費	68,677,505	75,079,562	△ 6,402,057	91.5%
患者外給食材料費	432,932	178,603	254,329	242.4%
長期前払消費税償却	27,586,684	27,335,043	251,641	100.9%
雑損失	103,369,605	115,494,645	△ 12,125,040	89.5%
<b>経常損益</b>	<b>△ 523,354,496</b>	<b>△ 48,120,143</b>	<b>△ 475,234,353</b>	-
特別利益	0	2,937,624,571	△ 2,937,624,571	皆減
過年度損益修正益	0	2,937,624,571	△ 2,937,624,571	皆減
<b>当年度純損益</b>	<b>△ 523,354,496</b>	<b>2,889,504,428</b>	<b>△ 3,412,858,924</b>	-
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 4,399,590,050	△ 7,289,094,478	2,889,504,428	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 4,922,944,546	△ 4,399,590,050	△ 523,354,496	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 志摩病院分については、平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

## 比較損益計算書（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	1,751,831,210	1,772,146,770	△ 20,315,560	98.9%
入院収益	1,430,401,533	1,454,106,943	△ 23,705,410	98.4%
外来収益	296,238,077	292,937,441	3,300,636	101.1%
その他医業収益	25,191,600	25,102,386	89,214	100.4%
医業費用	3,324,443,599	3,081,990,574	242,453,025	107.9%
給与費	2,271,201,689	2,044,127,815	227,073,874	111.1%
材料費	186,785,486	190,482,274	△ 3,696,788	98.1%
経 費	647,528,676	626,450,478	21,078,198	103.4%
減価償却費	205,480,843	207,927,697	△ 2,446,854	98.8%
資産減耗費	2,940,862	2,092,487	848,375	140.5%
研究研修費	10,506,043	10,909,823	△ 403,780	96.3%
<b>医業損益</b>	<b>△ 1,572,612,389</b>	<b>△ 1,309,843,804</b>	<b>△ 262,768,585</b>	<b>-</b>
医業外収益	1,112,922,989	1,341,871,137	△ 228,948,148	82.9%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	72,340,000	78,392,000	△ 6,052,000	92.3%
長期前受金戻入	129,492,131	126,193,380	3,298,751	102.6%
補助金	1,219,600	0	1,219,600	皆増
負担金	892,941,238	1,112,920,000	△ 219,978,762	80.2%
その他医業外収益	16,930,020	24,365,757	△ 7,435,737	69.5%
医業外費用	111,551,246	126,393,764	△ 14,842,518	88.3%
支払利息及び企業債取扱諸費	28,537,812	32,827,142	△ 4,289,330	86.9%
長期前払消費税償却	5,149,842	4,840,404	309,438	106.4%
雑損失	77,863,592	88,726,218	△ 10,862,626	87.8%
<b>経常損益</b>	<b>△ 571,240,646</b>	<b>△ 94,366,431</b>	<b>△ 476,874,215</b>	<b>-</b>
特別利益	0	1,549,964,943	△ 1,549,964,943	皆減
過年度損益修正益	0	1,549,964,943	△ 1,549,964,943	皆減
<b>当年度純損益</b>	<b>△ 571,240,646</b>	<b>1,455,598,512</b>	<b>△ 2,026,839,158</b>	<b>-</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 75,612,991	△ 1,531,211,503	1,455,598,512	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 646,853,637	△ 75,612,991	△ 571,240,646	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

## 比較損益計算書（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	672,806,362	639,819,947	32,986,415	105.2%
入院収益	428,701,864	387,168,213	41,533,651	110.7%
外来収益	128,509,154	138,875,156	△ 10,366,002	92.5%
その他医業収益	115,595,344	113,776,578	1,818,766	101.6%
医業費用	1,013,282,484	982,475,653	30,806,831	103.1%
給与費	615,682,774	587,523,774	28,159,000	104.8%
材料費	64,509,698	61,094,492	3,415,206	105.6%
経 費	239,096,361	242,575,993	△ 3,479,632	98.6%
減価償却費	90,987,814	89,581,627	1,406,187	101.6%
資産減耗費	1,895,682	756,802	1,138,880	250.5%
研究研修費	1,110,155	942,965	167,190	117.7%
<b>医業損益</b>	<b>△ 340,476,122</b>	<b>△ 342,655,706</b>	<b>2,179,584</b>	<b>-</b>
医業外収益	424,275,296	457,528,580	△ 33,253,284	92.7%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	18,907,000	21,146,000	△ 2,239,000	89.4%
長期前受金戻入	43,598,337	41,178,392	2,419,945	105.9%
補助金	314,200	0	314,200	皆増
負担金	339,545,544	381,794,000	△ 42,248,456	88.9%
その他医業外収益	21,910,215	13,410,188	8,500,027	163.4%
医業外費用	29,324,847	30,111,861	△ 787,014	97.4%
支払利息及び企業債取扱諸費	1,552,012	1,023,963	528,049	151.6%
患者外給食材料費	432,932	178,603	254,329	242.4%
長期前払消費税償却	3,394,073	3,413,283	△ 19,210	99.4%
雑損失	23,945,830	25,496,012	△ 1,550,182	93.9%
<b>経常損益</b>	<b>54,474,327</b>	<b>84,761,013</b>	<b>△ 30,286,686</b>	<b>64.3%</b>
特別利益	0	87,185,433	△ 87,185,433	皆減
過年度損益修正益	0	87,185,433	△ 87,185,433	皆減
<b>当年度純損益</b>	<b>54,474,327</b>	<b>171,946,446</b>	<b>△ 117,472,119</b>	<b>31.7%</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	150,383,885	△ 21,562,561	171,946,446	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	204,858,212	150,383,885	54,474,327	136.2%

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

## 比較損益計算書（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年度 比 率
医業収益	6,906,422	6,301,192	605,230	109.6%
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	6,906,422	6,301,192	605,230	109.6%
医業費用	1,201,730,385	931,572,012	270,158,373	129.0%
給与費	0	0	0	-
材料費	0	0	0	-
経 費	938,998,604	633,282,698	305,715,906	148.3%
減価償却費	253,229,461	292,678,821	△ 39,449,360	86.5%
資産減耗費	9,502,320	5,610,493	3,891,827	169.4%
研究研修費	0	0	0	-
<b>医業損益</b>	<b>△ 1,194,823,963</b>	<b>△ 925,270,820</b>	<b>△ 269,553,143</b>	-
医業外収益	1,246,714,851	948,196,719	298,518,132	131.5%
受取利息配当金	0	0	0	-
他会計補助金	0	0	0	-
長期前受金戻入	141,029,535	145,366,407	△ 4,336,872	97.0%
補助金	4,855,000	6,552,000	△ 1,697,000	74.1%
負担金	947,289,687	640,738,000	306,551,687	147.8%
その他医業外収益	153,540,629	155,540,312	△ 1,999,683	98.7%
医業外費用	58,479,065	60,956,749	△ 2,477,684	95.9%
支払利息及び企業債取扱諸費	38,587,322	41,227,324	△ 2,640,002	93.6%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	18,933,480	18,953,876	△ 20,396	99.9%
雑損失	958,263	775,549	182,714	123.6%
<b>経常損益</b>	<b>△ 6,588,177</b>	<b>△ 38,030,850</b>	<b>31,442,673</b>	-
特別利益	0	1,299,990,320	△ 1,299,990,320	皆減
過年度損益修正益	0	1,299,990,320	△ 1,299,990,320	皆減
<b>当年度純損益</b>	<b>△ 6,588,177</b>	<b>1,261,959,470</b>	<b>△ 1,268,547,647</b>	-
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	△ 4,474,360,944	△ 5,736,320,414	1,261,959,470	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	△ 4,480,949,121	△ 4,474,360,944	△ 6,588,177	-

（注）1 本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

2 平成24年度から指定管理者制度を導入していることから、収益面では入院及び外来収益などが、費用面では病院の直接的な運営経費の給与費や材料費などが含まれていない。

## 比較損益計算書（県立病院課）

（単位：円）

科 目	令和6年度	令和5年度	比較増減	対前年度 比率
医業収益	0	0	0	-
入院収益	0	0	0	-
外来収益	0	0	0	-
その他医業収益	0	0	0	-
医業費用	114,815,709	99,661,311	15,154,398	115.2%
給与費	109,953,684	94,284,462	15,669,222	116.6%
材料費	0	0	0	-
経費	3,445,720	3,481,100	△ 35,380	99.0%
減価償却費	1,065,300	1,802,250	△ 736,950	59.1%
資産減耗費	0	9,240	△ 9,240	皆減
研究研修費	351,005	84,259	266,746	416.6%
<b>医業損益</b>	<b>△ 114,815,709</b>	<b>△ 99,661,311</b>	<b>△ 15,154,398</b>	<b>-</b>
医業外収益	115,527,277	99,802,915	15,724,362	115.8%
受取利息配当金	615,913	39,106	576,807	1575.0%
他会計補助金	28,223,000	24,425,000	3,798,000	115.5%
長期前受金戻入 補助金	763,511 0	988,697 0	△ 225,186 0	77.2% -
負担金	85,892,180	74,299,000	11,593,180	115.6%
その他医業外収益	32,673	51,112	△ 18,439	63.9%
医業外費用	711,568	625,479	86,089	113.8%
支払利息及び企業債取扱諸費	359	1,133	△ 774	31.7%
患者外給食材料費	0	0	0	-
長期前払消費税償却	109,289	127,480	△ 18,191	85.7%
雑損失	601,920	496,866	105,054	121.1%
<b>経常損益</b>	<b>0</b>	<b>△ 483,875</b>	<b>483,875</b>	<b>-</b>
<b>特別利益</b>	<b>0</b>	<b>483,875</b>	<b>△ 483,875</b>	<b>皆減</b>
過年度損益修正益	0	483,875	△ 483,875	皆減
<b>当年度純損益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
前年度繰越利益剰余金 （△は前年度繰越欠損金）	0	0	0	-
当年度未処分利益剰余金 （△は当年度未処理欠損金）	0	0	0	-

（注）本表の金額は、消費税及び地方消費税を含まない。

## 2 貸借対照表

### 比較貸借対照表 (病院事業計)

(単位:円)

科 目	令和6年度		令和5年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	7,493,801,809	80.4%	7,694,271,090	76.9%	△ 200,469,281	97.4%
有形固定資産	7,207,902,365	77.3%	7,402,805,297	74.0%	△ 194,902,932	97.4%
土地	464,839,163	5.0%	464,839,163	4.6%	0	100.0%
建物	5,625,129,975	60.3%	5,825,413,425	58.2%	△ 200,283,450	96.6%
構築物	224,426,662	2.4%	243,264,891	2.4%	△ 18,838,229	92.3%
器械備品	886,390,852	9.5%	856,327,526	8.6%	30,063,326	103.5%
車両	1,689,430	0.0%	2,732,785	0.0%	△ 1,043,355	61.8%
建設仮勘定	5,426,283	0.1%	10,227,507	0.1%	△ 4,801,224	53.1%
無形固定資産	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
電話加入権	2,298,889	0.0%	2,298,889	0.0%	0	100.0%
投資その他の資産	283,600,555	3.0%	289,166,904	2.9%	△ 5,566,349	98.1%
長期貸付金	2,400,000	0.0%	3,600,000	0.0%	△ 1,200,000	66.7%
長期前払消費税	281,030,555	3.0%	285,396,904	2.9%	△ 4,366,349	98.5%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	1,828,568,420	19.6%	2,310,895,423	23.1%	△ 482,327,003	79.1%
現金預金	1,346,364,371	14.4%	1,841,130,575	18.4%	△ 494,766,204	73.1%
未収金	465,139,899	5.0%	456,328,205	4.6%	8,811,694	101.9%
貯蔵品	11,101,337	0.1%	10,052,863	0.1%	1,048,474	110.4%
前払金	0	0.0%	383,780	0.0%	△ 383,780	皆減
その他流動資産	5,962,813	0.1%	3,000,000	0.0%	2,962,813	198.8%
<b>資産合計</b>	<b>9,322,370,229</b>	<b>100.0%</b>	<b>10,005,166,513</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 682,796,284</b>	<b>93.2%</b>
固定負債	10,157,027,144	109.0%	10,459,862,809	104.5%	△ 302,835,665	97.1%
企業債	4,448,122,882	47.7%	4,793,916,065	47.9%	△ 345,793,183	92.8%
他会計借入金	4,490,592,278	48.2%	4,580,592,278	45.8%	△ 90,000,000	98.0%
引当金	1,218,311,984	13.1%	1,085,354,466	10.8%	132,957,518	112.3%
流動負債	1,302,848,567	14.0%	1,265,114,674	12.6%	37,733,893	103.0%
企業債	738,793,183	7.9%	737,145,724	7.4%	1,647,459	100.2%
引当金	204,678,000	2.2%	182,320,000	1.8%	22,358,000	112.3%
未払金	348,838,596	3.7%	334,805,986	3.3%	14,032,610	104.2%
未払消費税及び 地方消費税	2,074,800	0.0%	1,472,500	0.0%	602,300	140.9%
その他流動負債	8,463,988	0.1%	9,370,464	0.1%	△ 906,476	90.3%
繰延収益	1,102,470,536	11.8%	996,810,552	10.0%	105,659,984	110.6%
長期前受金	1,102,470,536	11.8%	996,810,552	10.0%	105,659,984	110.6%
<b>負債合計</b>	<b>12,562,346,247</b>	<b>134.8%</b>	<b>12,721,788,035</b>	<b>127.2%</b>	<b>△ 159,441,788</b>	<b>98.7%</b>
資本金	311,409,778	3.3%	311,409,778	3.1%	0	100.0%
剰余金	△ 3,551,385,796	△38.1%	△ 3,028,031,300	△30.3%	△ 523,354,496	-
資本剰余金	1,371,558,750	14.7%	1,371,558,750	13.7%	0	100.0%
利益剰余金 (△は欠損金)	△ 4,922,944,546	△52.8%	△ 4,399,590,050	△44.0%	△ 523,354,496	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 3,239,976,018</b>	<b>△34.8%</b>	<b>△ 2,716,621,522</b>	<b>△27.2%</b>	<b>△ 523,354,496</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>9,322,370,229</b>	<b>100.0%</b>	<b>10,005,166,513</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 682,796,284</b>	<b>93.2%</b>

(注) 構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（こころの医療センター）

（単位：円）

科 目	令和6年度		令和5年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,298,801,706	80.4%	3,388,621,667	72.4%	△ 89,819,961	97.3%
有形固定資産	3,229,047,094	78.7%	3,321,794,435	70.9%	△ 92,747,341	97.2%
土地	272,188,972	6.6%	272,188,972	5.8%	0	100.0%
建物	2,632,031,263	64.2%	2,773,907,099	59.2%	△ 141,875,836	94.9%
構築物	59,275,825	1.4%	65,883,350	1.4%	△ 6,607,525	90.0%
器械備品	264,312,365	6.4%	207,721,406	4.4%	56,590,959	127.2%
車両	1,238,669	0.0%	2,093,608	0.0%	△ 854,939	59.2%
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
電話加入権	443,700	0.0%	443,700	0.0%	0	100.0%
投資その他の資産	69,310,912	1.7%	66,383,532	1.4%	2,927,380	104.4%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	69,140,912	1.7%	66,213,532	1.4%	2,927,380	104.4%
その他投資	170,000	0.0%	170,000	0.0%	0	100.0%
流動資産	803,779,940	19.6%	1,294,439,673	27.6%	△ 490,659,733	62.1%
現金預金	500,762,480	12.2%	997,853,740	21.3%	△ 497,091,260	50.2%
未収金	296,549,682	7.2%	289,664,478	6.2%	6,885,204	102.4%
貯蔵品	6,467,778	0.2%	6,665,674	0.1%	△ 197,896	97.0%
前払金	0	0.0%	255,781	0.0%	△ 255,781	皆減
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
<b>資産合計</b>	<b>4,102,581,646</b>	<b>100.0%</b>	<b>4,683,061,340</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 580,479,694</b>	<b>87.6%</b>
固定負債	3,017,757,160	73.6%	3,150,276,203	67.3%	△ 132,519,043	95.8%
企業債	1,610,044,348	39.2%	1,893,947,937	40.4%	△ 283,903,589	85.0%
他会計借入金	375,575,669	9.2%	375,575,669	8.0%	0	100.0%
引当金	1,032,137,143	25.2%	880,752,597	18.8%	151,384,546	117.2%
流動負債	770,476,192	18.8%	772,515,279	16.5%	△ 2,039,087	99.7%
企業債	406,149,839	9.9%	400,830,665	8.6%	5,319,174	101.3%
引当金	155,157,000	3.8%	139,730,000	3.0%	15,427,000	111.0%
未払金	207,034,440	5.0%	228,423,477	4.9%	△ 21,389,037	90.6%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動負債	2,134,913	0.1%	3,531,137	0.1%	△ 1,396,224	60.5%
繰延収益	771,023,623	18.8%	645,704,541	13.8%	125,319,082	119.4%
長期前受金	771,023,623	18.8%	645,704,541	13.8%	125,319,082	119.4%
<b>負債合計</b>	<b>4,559,256,975</b>	<b>111.1%</b>	<b>4,568,496,023</b>	<b>97.6%</b>	<b>△ 9,239,048</b>	<b>99.8%</b>
資本金	188,628,538	4.6%	188,628,538	4.0%	0	100.0%
剰余金	△ 645,303,867	△15.7%	△ 74,063,221	△1.6%	△ 571,240,646	-
資本剰余金	1,549,770	0.0%	1,549,770	0.0%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 646,853,637	△15.8%	△ 75,612,991	△1.6%	△ 571,240,646	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 456,675,329</b>	<b>△11.1%</b>	<b>114,565,317</b>	<b>2.4%</b>	<b>△ 571,240,646</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>4,102,581,646</b>	<b>100.0%</b>	<b>4,683,061,340</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 580,479,694</b>	<b>87.6%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（一志病院）

（単位：円）

科 目	令和6年度		令和5年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	789,689,223	45.2%	831,752,934	46.6%	△ 42,063,711	94.9%
有形固定資産	743,060,314	42.5%	783,280,460	43.9%	△ 40,220,146	94.9%
土地	39,881,445	2.3%	39,881,445	2.2%	0	100.0%
建物	484,812,150	27.7%	509,860,953	28.6%	△ 25,048,803	95.1%
構築物	32,982,760	1.9%	34,559,274	1.9%	△ 1,576,514	95.4%
器械備品	181,705,921	10.4%	195,007,334	10.9%	△ 13,301,413	93.2%
車両	283,038	0.0%	471,454	0.0%	△ 188,416	60.0%
建設仮勘定	3,395,000	0.2%	3,500,000	0.2%	△ 105,000	97.0%
無形固定資産	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
電話加入権	420,200	0.0%	420,200	0.0%	0	100.0%
投資その他の資産	46,208,709	2.6%	48,052,274	2.7%	△ 1,843,565	96.2%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	46,208,709	2.6%	48,052,274	2.7%	△ 1,843,565	96.2%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	957,954,046	54.8%	953,657,253	53.4%	4,296,793	100.5%
現金預金	782,373,297	44.8%	798,156,549	44.7%	△ 15,783,252	98.0%
未収金	167,984,377	9.6%	152,040,727	8.5%	15,943,650	110.5%
貯蔵品	4,633,559	0.3%	3,387,189	0.2%	1,246,370	136.8%
前払金	0	0.0%	72,788	0.0%	△ 72,788	皆減
その他流動資産	2,962,813	0.2%	0	0.0%	2,962,813	皆増
<b>資産合計</b>	<b>1,747,643,269</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,785,410,187</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 37,766,918</b>	<b>97.9%</b>
固定負債	1,173,945,565	67.2%	1,295,244,876	72.5%	△ 121,299,311	90.6%
企業債	363,759,809	20.8%	384,812,457	21.6%	△ 21,052,648	94.5%
他会計借入金	626,013,285	35.8%	716,013,285	40.1%	△ 90,000,000	87.4%
引当金	184,172,471	10.5%	194,419,134	10.9%	△ 10,246,663	94.7%
流動負債	206,425,117	11.8%	173,361,450	9.7%	33,063,667	119.1%
企業債	71,506,398	4.1%	74,177,798	4.2%	△ 2,671,400	96.4%
引当金	37,677,000	2.2%	31,807,000	1.8%	5,870,000	118.5%
未払金	94,855,382	5.4%	65,192,904	3.7%	29,662,478	145.5%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動負債	2,386,337	0.1%	2,183,748	0.1%	202,589	109.3%
繰延収益	115,037,954	6.6%	119,043,555	6.7%	△ 4,005,601	96.6%
長期前受金	115,037,954	6.6%	119,043,555	6.7%	△ 4,005,601	96.6%
<b>負債合計</b>	<b>1,495,408,636</b>	<b>85.6%</b>	<b>1,587,649,881</b>	<b>88.9%</b>	<b>△ 92,241,245</b>	<b>94.2%</b>
資本金	36,867,441	2.1%	36,867,441	2.1%	0	100.0%
剰余金	215,367,192	12.3%	160,892,865	9.0%	54,474,327	-
資本剰余金	10,508,980	0.6%	10,508,980	0.6%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	204,858,212	11.7%	150,383,885	8.4%	54,474,327	-
<b>資本合計</b>	<b>252,234,633</b>	<b>14.4%</b>	<b>197,760,306</b>	<b>11.1%</b>	<b>54,474,327</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>1,747,643,269</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,785,410,187</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 37,766,918</b>	<b>97.9%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（志摩病院）

（単位：円）

科 目	令和6年度		令和5年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	3,401,072,172	99.1%	3,467,280,919	99.3%	△ 66,208,747	98.1%
有形固定資産	3,234,772,182	94.3%	3,295,642,327	94.4%	△ 60,870,145	98.2%
土地	152,768,746	4.5%	152,768,746	4.4%	0	100.0%
建物	2,508,286,562	73.1%	2,541,645,373	72.8%	△ 33,358,811	98.7%
構築物	132,168,077	3.9%	142,822,267	4.1%	△ 10,654,190	92.5%
器械備品	439,349,791	12.8%	451,510,711	12.9%	△ 12,160,920	97.3%
車両	167,723	0.0%	167,723	0.0%	0	100.0%
建設仮勘定	2,031,283	0.1%	6,727,507	0.2%	△ 4,696,224	30.2%
無形固定資産	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
電話加入権	1,434,989	0.0%	1,434,989	0.0%	0	100.0%
投資その他の資産	164,865,001	4.8%	170,203,603	4.9%	△ 5,338,602	96.9%
長期貸付金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
長期前払消費税	164,865,001	4.8%	170,203,603	4.9%	△ 5,338,602	96.9%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	29,738,116	0.9%	25,382,630	0.7%	4,355,486	117.2%
現金預金	29,132,276	0.8%	25,382,630	0.7%	3,749,646	114.8%
未収金	605,840	0.0%	0	0.0%	605,840	皆増
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
<b>資産合計</b>	<b>3,430,810,288</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,492,663,549</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 61,853,261</b>	<b>98.2%</b>
固定負債	5,962,401,832	173.8%	6,003,188,778	171.9%	△ 40,786,946	99.3%
企業債	2,474,218,725	72.1%	2,515,005,671	72.0%	△ 40,786,946	98.4%
他会計借入金	3,488,183,107	101.7%	3,488,183,107	99.9%	0	100.0%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動負債	287,904,466	8.4%	287,469,891	8.2%	434,575	100.2%
企業債	261,086,946	7.6%	262,087,261	7.5%	△ 1,000,315	99.6%
引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
未払金	26,817,520	0.8%	25,382,630	0.7%	1,434,890	105.7%
未払消費税及び 地方消費税	0	0.0%	0	0.0%	0	-
その他流動負債	0	0.0%	0	0.0%	0	-
繰延収益	216,039,312	6.3%	230,952,025	6.6%	△ 14,912,713	93.5%
長期前受金	216,039,312	6.3%	230,952,025	6.6%	△ 14,912,713	93.5%
<b>負債合計</b>	<b>6,466,345,610</b>	<b>188.5%</b>	<b>6,521,610,694</b>	<b>186.7%</b>	<b>△ 55,265,084</b>	<b>99.2%</b>
資本金	85,913,799	2.5%	85,913,799	2.5%	0	100.0%
剰余金	△ 3,121,449,121	△91.0%	△ 3,114,860,944	△89.2%	△ 6,588,177	-
資本剰余金	1,359,500,000	39.6%	1,359,500,000	38.9%	0	100.0%
利益剰余金 （△は欠損金）	△ 4,480,949,121	△130.6%	△ 4,474,360,944	△128.1%	△ 6,588,177	-
<b>資本合計</b>	<b>△ 3,035,535,322</b>	<b>△88.5%</b>	<b>△ 3,028,947,145</b>	<b>△86.7%</b>	<b>△ 6,588,177</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>3,430,810,288</b>	<b>100.0%</b>	<b>3,492,663,549</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 61,853,261</b>	<b>98.2%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

## 比較貸借対照表（県立病院課）

（単位：円）

科 目	令和6年度		令和5年度		比較増減	対前年度 比 率
	金 額	構成 比率	金 額	構成 比率		
固定資産	4,238,708	10.3%	6,615,570	15.0%	△ 2,376,862	64.1%
有形固定資産	1,022,775	2.5%	2,088,075	4.7%	△ 1,065,300	49.0%
土地	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
構築物	0	0.0%	0	0.0%	0	-
器械備品	1,022,775	2.5%	2,088,075	4.7%	△ 1,065,300	49.0%
車両	0	0.0%	0	0.0%	0	-
建設仮勘定	0	0.0%	0	0.0%	0	-
無形固定資産	0	0.0%	0	0.0%	0	-
電話加入権	0	0.0%	0	0.0%	0	-
投資その他の資産	3,215,933	7.8%	4,527,495	10.3%	△ 1,311,562	71.0%
長期貸付金	2,400,000	5.8%	3,600,000	8.2%	△ 1,200,000	66.7%
長期前払消費税	815,933	2.0%	927,495	2.1%	△ 111,562	88.0%
その他投資	0	0.0%	0	0.0%	0	-
流動資産	37,096,318	89.7%	37,415,867	85.0%	△ 319,549	99.1%
現金預金	34,096,318	82.5%	19,737,656	44.8%	14,358,662	172.7%
未収金	0	0.0%	14,623,000	33.2%	△ 14,623,000	皆減
貯蔵品	0	0.0%	0	0.0%	0	-
前払金	0	0.0%	55,211	0.1%	△ 55,211	皆減
その他流動資産	3,000,000	7.3%	3,000,000	6.8%	0	100.0%
<b>資産合計</b>	<b>41,335,026</b>	<b>100.0%</b>	<b>44,031,437</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 2,696,411</b>	<b>93.9%</b>
固定負債	2,922,587	7.1%	11,152,952	25.3%	△ 8,230,365	26.2%
企業債	100,000	0.2%	150,000	0.3%	△ 50,000	66.7%
他会計借入金	820,217	2.0%	820,217	1.9%	0	100.0%
引当金	2,002,370	4.8%	10,182,735	23.1%	△ 8,180,365	19.7%
流動負債	38,042,792	92.0%	31,768,054	72.1%	6,274,738	119.8%
企業債	50,000	0.1%	50,000	0.1%	0	100.0%
引当金	11,844,000	28.7%	10,783,000	24.5%	1,061,000	109.8%
未払金	20,131,254	48.7%	15,806,975	35.9%	4,324,279	127.4%
未払消費税及び 地方消費税	2,074,800	5.0%	1,472,500	3.3%	602,300	140.9%
その他流動負債	3,942,738	9.5%	3,655,579	8.3%	287,159	107.9%
繰延収益	369,647	0.9%	1,110,431	2.5%	△ 740,784	33.3%
長期前受金	369,647	0.9%	1,110,431	2.5%	△ 740,784	33.3%
<b>負債合計</b>	<b>41,335,026</b>	<b>100.0%</b>	<b>44,031,437</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 2,696,411</b>	<b>93.9%</b>
資本金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
資本剰余金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
利益剰余金 （△は欠損金）	0	0.0%	0	0.0%	0	-
<b>資本合計</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>0</b>	<b>0.0%</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>41,335,026</b>	<b>100.0%</b>	<b>44,031,437</b>	<b>100.0%</b>	<b>△ 2,696,411</b>	<b>93.9%</b>

（注）構成比率については、四捨五入の関係から合計が合わない場合がある。

業務実績表

区 分		実 績					す う 勢 比 率				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
こ こ ろ 医 療 セ ン タ ー	延べ入院患者数（人）	81,329	69,299	68,292	74,552	70,709	100.0	85.2	84.0	91.7	86.9
	延べ外来患者数（人）	43,377	45,378	45,476	43,935	43,307	100.0	104.6	104.8	101.3	99.8
	計	124,706	114,677	113,768	118,487	114,016	100.0	92.0	91.2	95.0	91.4
	入院外来収益（千円）	1,773,772	1,666,078	1,677,725	1,747,044	1,726,640	100.0	93.9	94.6	98.5	97.3
一 志 病 院	延べ入院患者数（人）	13,251	12,684	12,047	12,234	11,838	100.0	95.7	90.9	92.3	89.3
	延べ外来患者数（人）	18,093	17,214	15,977	13,353	12,619	100.0	95.1	88.3	73.8	69.7
	計	31,344	29,898	28,024	25,587	24,457	100.0	95.4	89.4	81.6	78.0
	入院外来収益（千円）	545,461	529,683	543,175	526,043	557,211	100.0	97.1	99.6	96.4	102.2
志 摩 病 院	延べ入院患者数（人）	63,041	61,291	60,648	61,938	62,923	100.0	97.2	96.2	98.3	99.8
	延べ外来患者数（人）	61,819	61,655	62,800	60,169	59,173	100.0	99.7	101.6	97.3	95.7
	計	124,860	122,946	123,448	122,107	122,096	100.0	98.5	98.9	97.8	97.8
	入院外来収益（千円）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	延べ入院患者数（人）	157,621	143,274	140,987	148,724	145,470	100.0	90.9	89.4	94.4	92.3
	延べ外来患者数（人）	123,289	124,247	124,253	117,457	115,099	100.0	100.8	100.8	95.3	93.4
	計	280,910	267,521	265,240	266,181	260,569	100.0	95.2	94.4	94.8	92.8

(注) 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、算出していない項目がある。

業務分析表

区 分			こころの医療センター				一志病院				志摩病院				備 考		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	全国同規模病院(R5)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	全国同規模病院(R5)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	全国同規模病院(R5)			
病床数・利用率	計	許可病床数(床)	348	318	318	-	82	82	82	-	336	336	336	-	病床利用率 年延入院患者数 入院病床数		
		病床利用率(%)	53.8	62.1	60.9	62.4	40.3	40.8	39.6	60.6	49.5	50.4	51.3	68.0			
	うち一般	許可病床数(床)	-	-	-	-	46	46	46	-	236	236	236	-			
		病床利用率(%)	-	-	-	-	71.8	72.7	70.5	59.8	41.4	45.3	47.1	69.5			
	うち精神	許可病床数(床)	348	318	318	-	-	-	-	-	100	100	100	-			
		病床利用率(%)	53.8	62.1	60.9	62.0	-	-	-	-	68.4	62.4	61.3	54.5			
患者数	1日平均患者数(人)		入院	187	204	194	163	33	33	32	44	166	169	172	230	年延入院患者数 入院診療日数	
			外来	187	181	178	144	66	55	52	128	258	248	244	562	年延外来患者数 外来診療日数	
	外来入院患者比率(%)			66.6	58.9	61.2	59.9	132.6	109.1	106.6	199.8	103.5	97.1	94.0	164.5	年延外来患者数 年延入院患者数	
	職員1人あたり患者数(人)	医師	入院	13.9	14.1	12.6	10.5	16.5	11.1	10.8	7.1	-	-	-	3.4	年延入院患者数 年延医師数	
			外来	9.3	8.3	7.7	6.3	21.9	12.2	11.5	14.1	-	-	-	5.6	年延外来患者数 年延医師数	
	看護部門職員	看護部門職員	入院	1.2	1.4	1.3	1.3	0.8	0.6	0.6	0.9	-	-	-	0.8	年延入院患者数 年延看護職員数	
			外来	0.8	0.8	0.8	0.8	1.1	0.7	0.7	1.9	-	-	-	1.3	年延外来患者数 年延看護職員数	
	収入(円)	患者1人1日あたり診療収入		入院	20,161	19,505	20,229	23,074	30,831	31,647	36,214	27,505	-	-	-	58,068	入院収益 年延入院患者数
				外来	6,616	6,668	6,840	8,685	10,750	10,400	11,800	9,156	-	-	-	16,620	外来収益 年延外来患者数
		職員1人1日あたり診療収入		医師	342,323	330,880	306,631	296,502	744,075	479,092	527,489	324,177	-	-	-	290,030	入院外来収益 年延医師数
看護部門職員				29,130	31,847	31,187	35,939	37,486	25,666	30,432	42,965	-	-	-	65,179	入院外来収益 年延看護職員数	
費用(円)	患者1人1日あたり薬品費		663	770	775	1,006	543	713	688	1,334	-	-	-	5,010	薬品費(投薬注射) 年延入院外来患者数		
	入院患者1人1日あたり給食材料費		918	918	1,009	401	786	830	859	375	-	-	-	394	患者用給食材料費 年延入院患者数		
対医療収益率(%)	薬品費		4.0	4.6	4.5	4.2	2.1	2.5	2.1	7.6	-	-	-	13.9	薬品費 医療収益		
	その他医療材料費		2.1	1.6	1.4	1.3	5.5	4.4	4.8	6.0	-	-	-	11.1	その他医療材料費 医療収益		
	他会計繰入金		53.2	54.0	53.9	45.1	49.0	51.9	48.6	34.0	-	-	-	12.5	他会計繰入金 医療収益		

- (注) 1 本表の数値は、総務省決算統計データに基づき算出している。  
 2 全国同規模病院(R5)は、「令和5年度地方公営企業年鑑(総務省自治財政局編)」より、こころの医療センターは「精神科病院」、一志病院は「50床以上100床未満」、志摩病院は「300床以上400床未満」の平均を引用している。(許可病床が同規模の病院と比較)  
 3 病床数・病床利用率の計は、療養病床・結核病床・感染症病床を含む。  
 4 志摩病院については、平成24年度から指定管理者制度を導入しているため、参考として記載しており、また算出していない項目がある。



令和6年度三重県公営企業会計（病院事業庁）  
決算審査意見書

令和7年9月

三重県監査委員事務局  
〒514-0004 津市栄町1丁目954番地  
電話(059)224-2924